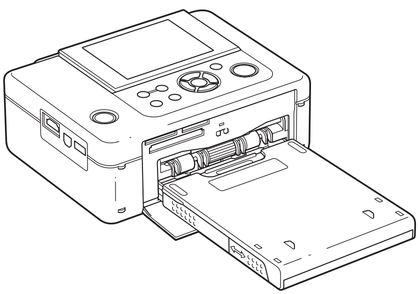
SONY

3-285-420-**02** (1)

デジタルフォト プリンター

DPP-FP95



取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別冊「はじめにお読みください」および別冊「プリントパックについて」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

SUPER COAT 2　MEMORY STICK　PictBridge　HDMI　BRAVIA Link リンクメニュー対応

別冊の「はじめにお読みください」、「プリントパックについて」もお読みください。

⚠警告 安全のために

➡84 ～ 86 ページもあわせてお読みください。

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

84 ～ 86 ページの注意事項をよくお読みください。

⬇

定期的に点検する

1 年に 1 度は、電源コードに傷みがないか、プラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

⬇

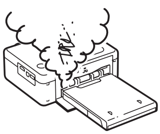
故障したら使わない

動作がおかしくなったり、本体が破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーの相談窓口に修理をご依頼ください。

⬇

万一異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら



➡

1. **電源を切る**
2. **電源プラグをコンセントから抜く**
3. **お買い上げ店またはソニーの相談窓口に修理を依頼する**

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



行為を禁止する記号



行為を指示する記号



電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本機は「JIS C 61000-3-2 適合品」です。

AC アダプターは容易に手が届くようなコンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。

各種 CD、TV 映像、画像等著作権の対象となっている著作物、その他あなたが撮影、制作した映像以外のものを複製、編集、印刷することは、著作権法上、個人的にまたは家庭内でその複製物、編集物、印刷物を使用する場合に限って許されています。利用者自身が複製対象物について著作権等を有しているか、あるいは複製等について著作権者等から許諾を受けている等の事情が無いにもかかわらず、この範囲を超えて複製、編集、印刷や、複製物、編集物、印刷物を使用した場合には、著作権等を侵害することとなり、著作権者等から損害賠償等を請求されることとなりますので、そのような利用方法は厳重にお控えください。また、本機においての写真の画像データを利用する場合は、上記著作権侵害にあたる利用方法は厳重にお控えいただくことはもちろん、他人の肖像を勝手に使用、改変等すると肖像権を侵害することになりますので、そのような利用方法も厳重にお控えください。なお、実演、興行、展示物の中には撮影を限定している場合がありますのでご注意ください。

記録内容の保証はできません
万一、本製品の不具合により、プリントや記録ができなかった場合、および記録内容が破損または消去された場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。

バックアップのおすすめ
万一の誤消去や破損にそなえ、必ず予備のデータコピーをおとりください。

ご注意

- 画面に表示される画像と実際にプリントされる画像では、画質または色が異なる場合があります。これは、発色方法の違いや液晶画面個々の特性の違いによるもので、画面に表示される画像はあくまで目安とお考えください。
- 液晶画面を強く押さないでください。画面にムラが出たり、液晶画面の故障の原因になります。
- 液晶画面を太陽に向けたままにしないでください。故障の原因となります。
- 液晶画面は有効画素 99.99% 以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えないことがあります。これは故障ではありません。なお、これらの点は印刷されません。
- 寒い場所で使うと、画面が尾を引いて見えることがありますが、故障ではありません。

商標について

- “BRAVIA”、“ ブラビアリンク ”、 BRAVIA Link 、Cyber-shot、 MEMORY STICK 、"Memory Stick"、" メモリースティック "、 MEMORY STICK 、"Memory Stick Duo"、" メモリースティック Duo"、" メモリースティック デュオ " 、MEMORY STICK DUO、“"MagicGate Memory Stick"、" マジックゲートメモリースティック "、"Memory Stick PRO"、" メモリースティック PRO"、MEMORY STICK PRO、"Memory Stick PRO Duo"、“" メモリースティック PRO Duo"”、" メモリースティック PRO デュオ "、MEMORY STICK PRO DUO、"Memory Stick PRO-HG Duo"、" メモリースティック PRO-HG Duo"、MEMORY STICK PRO-HG DUO 、“Memory Stick Micro”、" メモリースティック マイクロ "、MEMORY STICK MICRO 、M2 、”Memory Stick-ROM”、“メモリースティック -ROM”、“MEMORY STICK-ROM ”、"MagicGate"、" マジックゲート "、MAGICGATEは、ソニー株式会社の商標または登録商標です。
- HDMI、HDMI 、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vista および DirectX は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Intel、Pentium は Intel Corporation の登録商標または商標です。
- コンパクトフラッシュ（CompactFlash）は、米国サンディスク社の商標です。
- xD-Picture Card 、xD-Picture Card™ は、富士フイルム（株）の商標です。
- Red FotoNation は、米国 FotoNation Inc. の商標です。
- SILKYPIX® は、市川ソフトラボラトリー社の商標です。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では ™、® マークは明記していません。
- 本機の顔検出機能は、ソニー株式会社が開発した顔画像認識技術により実現しています。
- Monotype Imaging Inc. の iType™ を搭載しています。iType™ は、Monotype Imaging Inc. の商標です。
- Bluetooth ワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc. の所有であり、ソニー株式会社はライセンスに基づきこのマークを使用しています。他のトレードマークおよびトレード名称については、個々の所有者に帰属するものとします。
- Zlib
©1995-2002 Jean-loup Gailly and Mark Adler

目次

お使いになる前に

準備する

ダイレクトプリント編

次のページにつづく

PictBridge 編

Bluetooth 編

パソコンプリント編

エラーメッセージ一覧

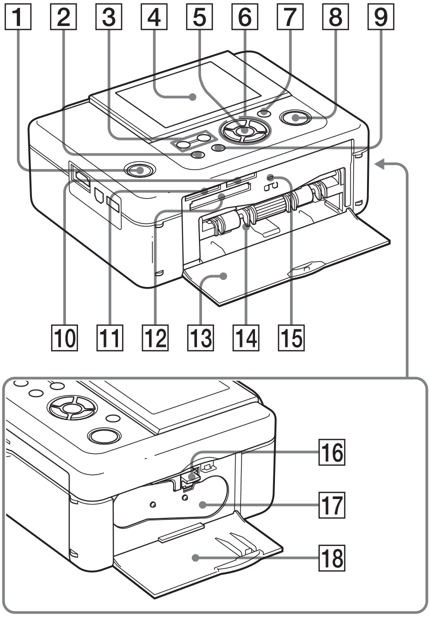
困ったときは

その他

別冊の「はじめにお読みください」、「プリントパックについて」に詳しい操作説明が記載されている場合、本書では
「→ **別冊「はじめにお読みください」**」、
「→ **別冊「プリントパックについて」**」
のようにご案内しています。

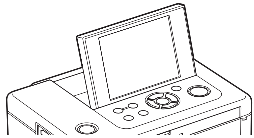
各部の名前

詳しい説明は、（　）内のページをご覧ください。



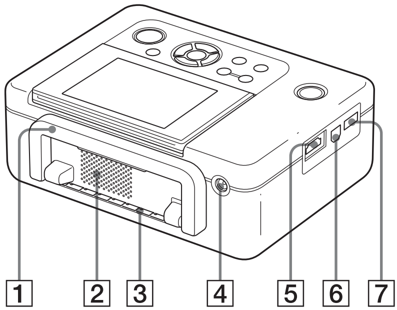
本体前面

1 ⏻（電源）ボタン／ STANDBY ランプ
2 メニューボタン
3 （インデックス）・（縮小）／（拡大）ボタン（→16 ページ）
4 液晶画面



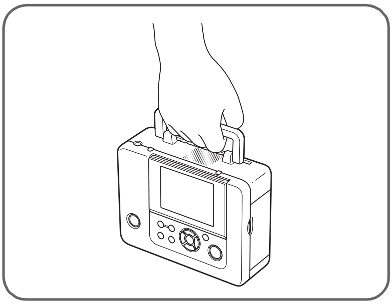
5 決定ボタン
6 方向（◁/▷/△/▽）ボタン
7 くっきり補正（自動補正）ボタン（→20 ページ）
8 印刷ボタン／ランプ
9 取消ボタン
10 " メモリースティック PRO" （スタンダード／デュオ）スロット（→16 ページ）
11 SDカード ／xD-Pictureカードスロット（→16 ページ）
12 コンパクトフラッシュカード（CompactFlash）スロット（→16 ページ）
13 ペーパートレイ挿入ドア
14 ペーパートレイ挿入部（→12 ページ）
15 アクセスランプ
16 インクリボン取り出しレバー（→9 ページ）
17 インクリボン（別売）（→9 ページ）
18 インクリボンドア（→9 ページ）

次のページにつづく



本体裏面

1 **ハンドル**
持ち運ぶときは、ハンドルを下図のようにおこして使用します。
お使いになるときは、ハンドルは元の位置に戻してください。



ご注意

- 持ち運ぶ際は、必ずメモリーカード、ペーパートレイ、ACアダプターおよび、ケーブル類は本機から取りはずしてください。故障の原因になります。
- 液晶画面を元に戻してください。

2 **通風口**

3 **通紙口**

4 **DC IN 24V 端子**（→13 ページ）
付属の AC アダプターのプラグを差し込み、電源コードで AC アダプターと家庭用電源を接続します。

本体左側面

5 **HDMI（出力）端子**（→42 ページ）
本機をハイビジョンテレビにつないでお使いになるときに、HDMI ケーブルを差し込む端子です。

6 **USB 端子**（→52 ページ）
本機をパソコンにつないでお使いになるときに、USB ケーブルを差し込む端子です。

7 **PictBridge／EXT INTERFACE端子**（→45～ 47 ページ）
PictBridge 対応のデジタルカメラ、マスストレージ対応のデジタルカメラ、USB メモリー、フォトストレージ、Bluetooth USB アダプター（DPPA-BT1）などの外部機器を接続する端子です。

付属品を確認する

梱包箱から取り出したら、次の付属品がそろっているか確認してください。

- ペーパートレイ（1 個）
- AC アダプター（1 個）
- 電源コード（1 本）
- クリーニングカートリッジ（1 個）、クリーニングシート（1 枚）
- CD-ROM（Windows 用プリンタードライバー Ver.1.0、Picture Motion Browser Ver.3.0)（1 枚）
- 取扱説明書（本書）
- はじめにお読みください（1 部）
- プリントパックについて（1 部）
- 保証書（1 部）
- カスタマー登録のご案内（1 部）
- ソニーご相談窓口のご案内（1 部）
- ソフトウェア使用許諾契約書（1 部）

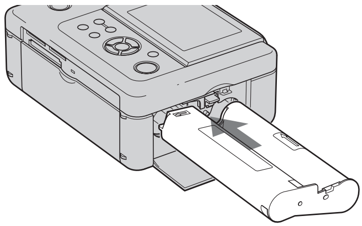
ソニー専用プリントパック(別売)について

ソニー専用プリントパックをご使用ください。詳しくは別冊の「プリントパックについて」をご覧ください。

インクリボンを入れる

1 インクリボンドアを手前に開ける。

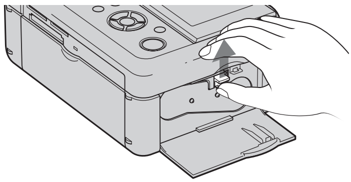
2 インクリボンを矢印の方向に「カチッ」とロックするまで奥へ差し込む。



3 インクリボンドアを閉める。

インクリボンを取り出すには

青色の取り出しレバーを上に押して、インクリボンを取り出します。

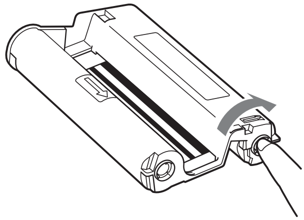


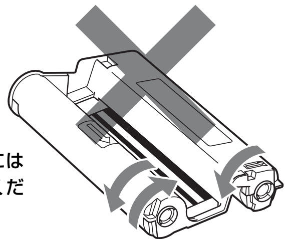
ご注意

- インクリボンは、L サイズ用と、P サイズ（ポストカードサイズ）用の 2 種類があります。プリントペーパーとインクリボンの組み合わせが正しくないと印刷できません。
- プリントペーパーと同じ箱に入っているインクリボンをご使用ください。
- インクリボンのインクに触れないでください。インクに指紋やほこりが付着すると、きれいにプリントできないことがあります。

次のページにつづく

- リボンを巻き戻してプリントしないでください。正常なプリント結果が得られず、故障の原因にもなります。インクリボンがうまく入らないときは、いったんインクリボンを取り出してから、入れ直してください。リボンがたるんでうまく入らない場合のみ、インクリボンの芯を押し込みながら矢印の方向に回してリボンのたるみを取ってください。





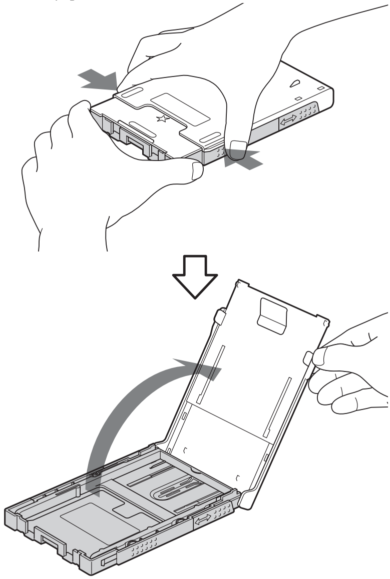
矢印の方向には回さないでください。

- インクリボンは分解しないでください。
- インクリボンからリボンを引き出さないでください。
- プリント中はインクリボンを取り出さないでください。
- インクリボンは湿度や温度の高いところ、埃の多い所、直射日光のあたるところは避け、なるべく冷暗所に保存し早めのご使用をおすすめします。保存状態によっては変退色する場合があり、このようなインクリボンのご使用による印画結果の補償、代償はいたしかねますので、ご容赦ください。

プリントペーパーを入れる

1 ペーパートレイのカバーを上に開ける。

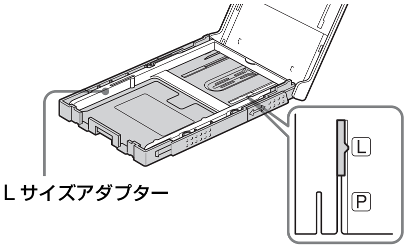
横の矢印の部分をつまんで、カバーを上に開きます。



2 お使いになるペーパーサイズに合わせてペーパートレイを準備する。

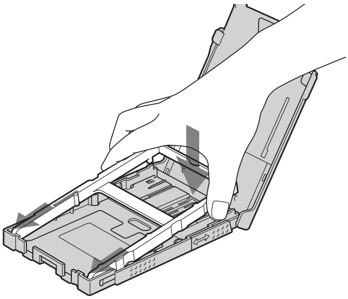
■L サイズの場合

L サイズアダプターを取り付けたままで使用します。



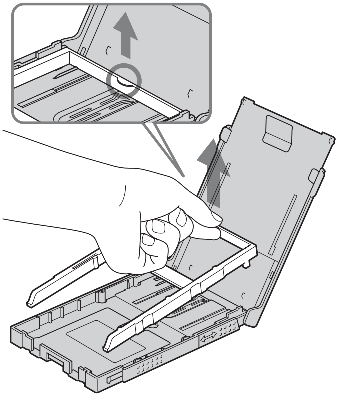
L サイズアダプターを取り付けるには

L サイズアダプターのツメをトレイ先端の穴に合わせて、アダプター後部を下ろします。

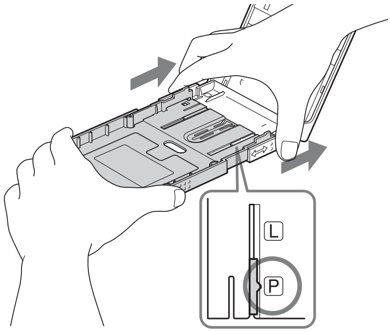


■P サイズの場合

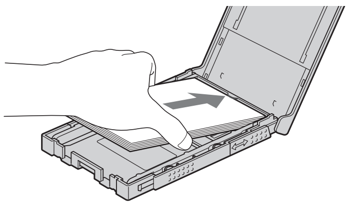
L サイズアダプターの後ろ中央部分を持ち、上にはずします。

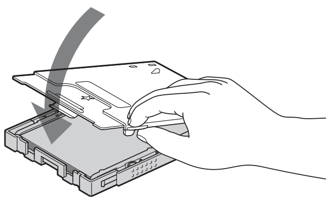


ペーパートレイを矢印方向にスライドさせ、「カチッ」と止まるまでのばします。底面の矢印（▲）が、「P」の位置に合っているか確認してください。



3 ペーパートレイにプリントペーパーを入れる。

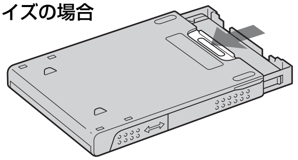




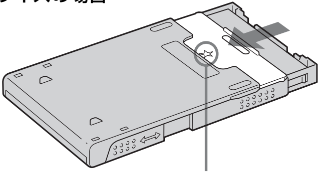
次のページにつづく

4　スライドカバーを開ける。

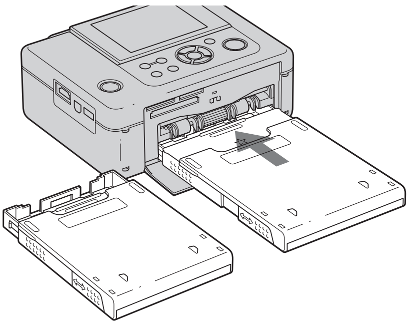
Lサイズの場合



Pサイズの場合



5　ペーパートレイを本体に差し込む。



ご注意

- ペーパートレイには、20枚まで入れられます。プリントペーパーを良くさばいてから、保護シートを上にして入れます。保護シートは取り除きます。
- プリント面（白無地）は上にして入れます。
- プリント面には触れないでください。プリント前に汚れや指紋が付着しますと、プリント結果に影響があります。
- プリント前にプリントペーパーを折り曲げたり、プリントペーパーのミシン目を切り離したりしないでください。
- プリントする前のプリントペーパーについて、故障を避けるために、以下の点にご注意ください。
  - 字を書かない。
  - 切手やシールを貼らない。
  - プリントペーパーをトレイに追加する場合、総量が20枚を超えないようにする。
  - 違う種類のプリントペーパーをトレイに重ねて入れない。
  - 一度使用したプリントペーパーでプリントしない。（同じ画像を重ねてプリントしても、濃くなりません。）
  - 指定以外のプリントペーパーは使用しない。
  - 一度白紙で排出されたプリントペーパーでプリントしない。

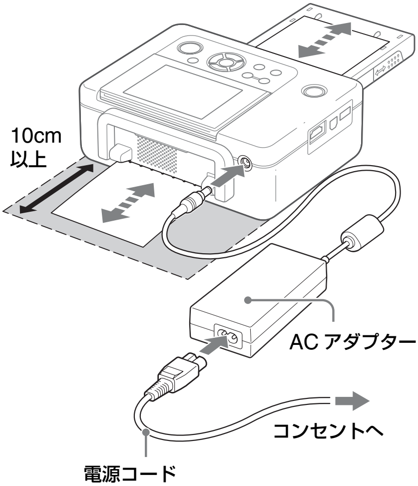
保存上のご注意

- プリントペーパーをペーパートレイに入れたまま保管する場合は、ペーパートレイをプリンター本体から取りはずしてスライドカバーを閉じて保管してください。
- プリント面どうしを重ね合わせて保存したり、プリント面を塩化ビニールや可塑剤が入ったプラスチックや消しゴムに長時間触れさせないでください。変退色することがあります。
- 温度や湿度の高いところ、埃の多い所、直射日光のあたるところでの保存は避けてください。
- 使用途中でペーパートレイから取り出して保存する場合は、プリントペーパーの入っていた袋などに入れて保存してください。

電源をつなぐ

1 AC アダプターのプラグを本体背面の DC IN24 V 端子につなぐ。

2 電源コードのプラグを AC アダプターとコンセントに差し込む。

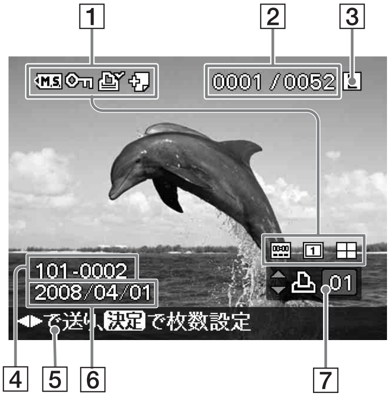


ご注意

- ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定なところに置かないでください。
- プリント時、背面からも何度かプリントペーパーが出てきます。AC アダプターや電源コードで通紙口をふさがないよう、背面のスペースは 10 cm 以上とるようにしてください。
- AC アダプターは、お手近なコンセントを使用してください。使用中、不具合が生じた時は、すぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- AC アダプターのプラグを金属類でショートさせないでください。故障の原因になります。
- ACアダプターを壁との隙間などの狭い場所に設置して使用しないでください。
- 使い終わったら、AC アダプターを本機の DC IN 24V 端子から、電源コードをコンセントから取りはずしてください。

画面の表示

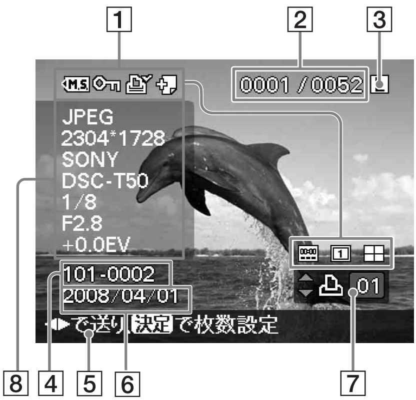
OSD 表示:「入」



OSD 表示:「切」



OSD 表示:「詳細」



一枚表示画面

一枚表示画面での表示は、メニューの「OSD 表示」(41 ページ)で切り換えることができます。別の画像を表示するには、◁/▷ ボタンを押します。

1 **入力、設定表示**
表示されている画像の入力、設定情報が表示されます。

表示	意味
M.S	" メモリースティック " 入力
CF	コンパクトフラッシュカード入力
SD	SD カード入力
XD	xD-Picture カード入力
USB	外部機器入力
	プロテクト表示
	DPOF(プリント予約)表示
	関連付けファイル表示 (E メール用の小さな画像や動画などの関連ファイルがあるときに表示されます。)
	日付プリント　ON 表示
00:00	日付時間プリント ON 表示
1	フチあり 1　ON 表示
2	フチあり 2　ON 表示
	割付印刷 4 ON 表示
	割付印刷 9 ON 表示
	割付印刷 16 ON 表示

2 **選択画像数／全画像数**

3 **インクリボン種類表示**
P： P サイズ（ポストカードサイズ）
L： L サイズ
C： クリーニングカートリッジ

4 **画像番号(フォルダ - ファイル名)***
（*DCF 準拠の画像の場合。DCF 準拠でないファイルは、ファイル名の一部が表示されます。）

5 **ガイドメッセージ**

6 **撮影年月日**

7 **プリント枚数設定**

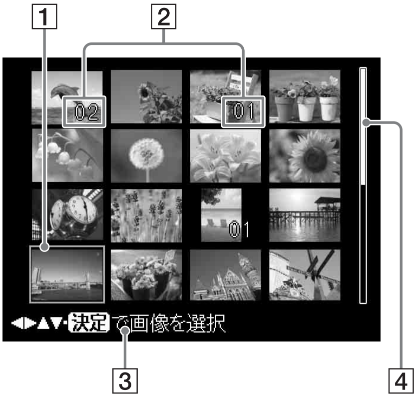
8 **画像詳細表示**

インデックス表示画面

選択しているメディア内のインデックス表示を表示します。メニューの「インデックス表示」で、表示を切り換えることができます。

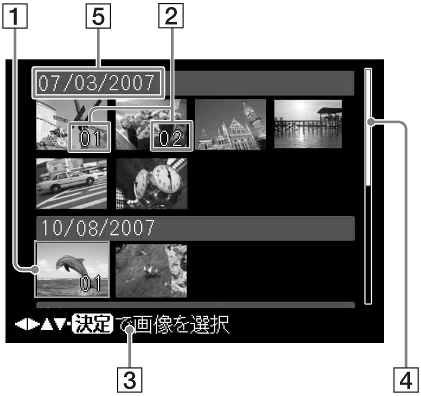
ファイル名順

画像が画像番号順に表示されます。



撮影日順

画像が撮影日順に表示されます。



1 **カーソル(オレンジ枠)**
◁/▷/△/▽ ボタンを押して、カーソルの位置（選択画像）を移動できます。

2 **プリント枚数確定**

3 **ガイドメッセージ**

4 **スクロールバー(全画像数内で、この画像の位置を表示)**

5 **撮影年月日**

ご注意

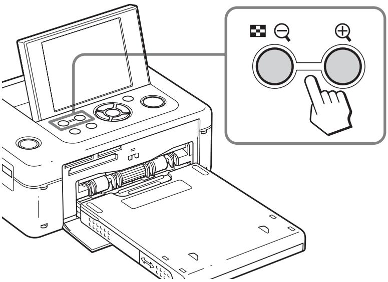
画像数が 2,000 枚以上の場合は、撮影日順での表示ができません。（ファイル名表示になります。）

次のページにつづく

一枚表示とインデックス表示を切り換える

画面の表示は、次の手順で切り換えることができます。

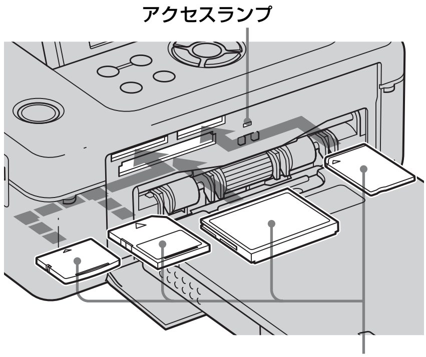
- **インデックス表示画面を表示する**
  一枚表示画面で ▦（インデックス）・⊖（縮小）ボタンを押します。画像が拡大表示されている場合は、▦・⊖ボタンを長押しすると、等倍表示後、一枚表示からインデックス表示に切り換わります。
- **一枚表示画面を表示する**
  インデックス表示で、◁/▷/△/▽ ボタンで一枚表示したい画像を選び ⊕（拡大）ボタンまたは、決定ボタンを押します。
- **画像を拡大する**
  ⊕（拡大）ボタンを長押しします。画像が、最大 5 倍まで拡大表示されます。



プリントしてみよう

メモリーカードを入れる

プリントしたい画像を保存しているメモリーカード（“メモリースティック”、“メモリースティック デュオ”、コンパクトフラッシュカード、SD カード、xD-Picture カード）の**ラベル面を上にして**、それぞれのスロットにしっかりと奥まで入れます。本機で使用できるメモリーカードの詳細については、77 ～ 79 ページをご覧ください。



ラベル面を上に左から、xD-Picture カード、SD カード、コンパクトフラッシュカード、“メモリースティック“(“メモリースティック デュオ”)

メモリーカードを取り出すには

本機のそれぞれのスロットから、メモリーカードを差し込んだ方向と逆の方向へ取り出します。

ご注意

- お使いになるメモリーカードのみを入れてください。複数のメモリーカードが挿入された場合、先に挿入されているものが優先されます。
- 本機には、スタンダード／デュオ サイズ対応スロットが搭載されていますので、メモリースティック デュオアダプターは不要です。
- SD カード／ xD-Picture カード兼用スロットは、自動的にカードタイプを検出します。
- メモリーカードご使用の際は、77 ～ 79 ページに記載のご注意をお守りください。

画像を選んでプリントする

メモリーカードや外部機器の画像を本体の液晶画面に表示し、選んだ画像をプリントする方法を説明します（ダイレクトプリント）。
外部機器については、45 ページをご覧ください。

1 ⏻（電源）ボタンを押して、電源を入れる。

STANDBY ランプが黄緑色に点灯します。画面にメモリーカードまたは外部機器の画像が表示されます。

2 ◁/▷ ボタンで画像を選ぶ。

3 印刷枚数を設定する。

表示している画像を 1 枚印刷する場合は、（この手順をとばして）手順 4 に進んでください。
決定ボタンを押して、印刷枚数表示を出し、△/▽ ボタンで枚数を設定し、決定ボタンを押します。

4 印刷ボタンを押す。

印刷ボタンが緑に点灯しているときはプリントできます。印刷枚数を設定した画像がすべてプリントされます。

複数の画像をプリントするには

手順 2、3 を繰り返します。

枚数を変更するには

変更したい画像を表示して、決定ボタンを押し、枚数を設定します。「0」を選ぶと印刷がキャンセルされます。

画像を拡大する（トリミングプリント）

⊕（拡大）ボタンを押します。5 倍まで拡大することができます。印刷ボタンを押すと、印刷プレビュー画面が表示されます。もう一度印刷ボタンを押すと、プレビュー画面が印刷されます。
元の大きさに戻すには⊖（縮小）ボタンを押します。

ご注意

- プリント中に本機を動かしたり、電源を切ったりしないでください。インクリボンが取り出せなくなったり、紙づまりの原因になります。万一電源を切ってしまったときは、ペーパートレイを装着したまま電源を入れなおし、排紙後にプリント操作を最初からやり直してください。
- プリント中はペーパートレイを抜かないでください。故障の原因になります。
- プリント中はプリントペーパーが一時的に何度か出てきます。ペーパーに触ったり、引っ張ったりしないでください。
- プリントペーパーが詰まった場合は74 ページをご覧ください。

内蔵画像について

何も接続しない状態で決定ボタンを押すと、プリンターの内蔵画像が表示されます。内蔵画像もプリントしたり、調整したりすることができます。

本機の入力について

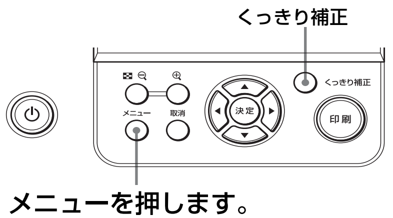
本機には入力切り換えスイッチはありません。メモリーカードまたは外部機器を接続すると、自動的に接続したカードまたは機器の画像が表示されます。複数のカードまたは機器が挿入された場合、先に挿入、接続されているものが優先されます。
また、複数のカードまたは機器が挿入されている状態で電源を入れたときは、“メモリースティック”（“メモリースティック デュオ”）、コンパクトフラッシュカード、SD カード、xD-Picture カード、PictBridge/EXT INTERFACE 端子につないだ外部機器の優先順位で表示されます。

デモモードについて

何も接続しない状態で 5 秒経過するとデモモードに入ります。ボタンを押すか、メモリーカードや外部機器を接続すると、デモモードを終了します。

いろいろなプリントを楽しむ

本体ボタンでの操作





くっきり補正(自動補正) →20 ページ

オートファインプリント 5 による自動補正に加えて以下の補正を実行します。

美肌補正

顔検出機能を使った明るさ補正(逆光など)

ピンボケ補正

自動赤目補正

- 目的の項目を ◁/▷ で選択し、決定ボタンを押します。
- メニューを消すには、再度メニューボタンを押します。

1 画像編集 →21 ページ

選択された 1 枚の画像の大きさ、位置、色合い調整などを行います。



項目	機能
	画像を拡大、縮小します。
	画像が移動します。
	画像が回転します。
	画質を調整します。
	画像に特殊効果を付けます。

項目	機能
	赤目の補正を行います。
	画像編集を無効にし、画像を編集前の状態に戻します。
	編集した画像を保存します。
	本体のくっきり補正ボタンを押すことにより、逆光、ピンボケ、赤目などを自動的に補正します。
	編集した画像を印刷します。
	[画像編集]メニューを終了します。

2 クリエイティブプリント →26 ページ

カレンダーや証明写真を作成します。





3 まとめてプリント →33 ページ



インデックス、DPOF、全画像をプリントします。



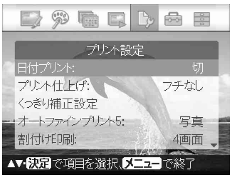
インデックスプリント

4 スライドショー →34 ページ



スライドショーを行います。
自動的にクリエイティブプリントを実行してスライドショーすることもできます。

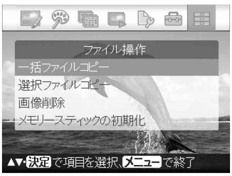
5 プリント設定 →37 ページ



6 表示／本体設定 →40 ページ



7 ファイル操作 →35 ページ



- メモリーカード間の画像のコピーを行います。
- 画像の削除
- 「メモリースティック」の初期化。

くっきり補正

1 **補正したい画像を表示し、くっきり補正ボタンを押す。**

選択した画像の補正が始まり、結果を表示します。人物の顔を検出した場合には途中経過として検出した顔に枠が表示されます。

補正の効果を確認するには

⊕ ボタンを押して画像を拡大表示します。（プリントされる画像は拡大されません。）

元の画像（補正前の画像）を再度見るには

くっきり補正ボタンを押します。補正後の画像に戻すには、再度くっきり補正ボタンを押します。

複数画像をプリント設定している場合は

選択されている画像は、すべて補正されます。◁/▷ ボタンで画像を送ることができます。

印刷枚数を設定するには

[決定] ボタンを押して、印刷枚数を表示し、△/▽ ボタンで枚数を設定し決定ボタンを押します。

2 **印刷ボタンを押す。**

選択した画像のプリントが始まります。

ちょっと一言

補正されるのは印刷結果のみで、オリジナル画像は補正前のままです。

ご注意

- くっきり補正後、⊕（拡大）ボタンを押して画像を拡大表示しているときは、印刷ボタンを押しても拡大印刷（トリミングプリント）はできません。
- 画像によっては人物の顔を自動判別できない場合があります。顔の明るさが適切に補正されない場合には、画像編集の画質調整機能を使って手動で明るさを調整してください。（21 ページ）
- 画像によってはピンボケ補正が適切にできない場合があります。この場合は、画像編集の画質調整機能を使って手動でシャープネスを調整してください。（21 ページ）
- ピンボケの補正は手ブレ画像には効果がありません。
- くっきり補正中は、メモリーカードや外部機器を本機から取り出さないでください。

Red™ FotoNation™

本機の自動赤目補正は、米国 FotoNation Inc. の技術を使用してます。

SILKYPIX®

本機の美肌補正は㈱市川ソフトラボラトリー社の技術を使用しています。

画像を編集する

画像を拡大・縮小する

1 画像編集メニュー（18 ページ）から ◁/▷ ボタンで、拡大するには （拡大）を、縮小するには （縮小）を選び決定ボタンを押す。

決定ボタンを押すたびに、拡大／縮小率が増加します。

本体の（拡大）／（縮小）ボタンを押しても拡大縮小することができます。

：200% まで拡大できます。

：60% まで縮小できます。

ご注意

拡大した場合は、画像サイズによっては画質が低下することがあります。

画像を移動する

1 画像編集メニュー（18 ページ）から ◁/▷ ボタンで、（移動）を選び、決定ボタンを押す。

画像の上下左右に矢印（◁/▷/△/▽）が表示され、画像が移動できるようになります。

2 ◁/▷/△/▽ ボタンを押して、画像を移動する。

3 決定ボタンを押す。

位置が確定します。

4 印刷ボタンを押す。

画像を回転する

1 画像編集メニュー（18 ページ）から ◁/▷ ボタンで、（回転）を選び、決定ボタンを押す。

回転メニューが表示されます。



2 △/▽ ボタンで、回転方向を選び、決定ボタンを押す。

- ＋90° 回転：時計方向に 90 度回転します。
- －90° 回転：反時計方向に 90 度回転します。

3 印刷ボタンを押す。

画質を調整する

1 画像編集ニュー（18 ページ）から ◁/▷ ボタンで、（画像調整）を選び、決定ボタンを押す。

画像調整メニューが表示されます。

2 △/▽ ボタンで調整したい項目を選び、決定ボタンを押す。

それぞれの項目の調整画面が表示されます。

次のページにつづく

[明るさ]を選んだ場合



⊲/⊳ ボタンでレベルを確認しながら調整します。調整前の画像が画面の左半分、調整後の画像が画面の右半分に表示されます。

- **明るさ**
  画像を全体的に明るくするには ⊳ を、暗くするには ⊲ を押します。
- **色あい**
  緑っぽい色あいにするには ⊳ を、赤っぽい色あいにするには ⊲ を押します。
- **色の濃さ**
  全体的に色を濃くするには ⊳ を、薄くするには ⊲ を押します。
- **シャープネス**
  画像の輪郭を鮮明にするには ⊳ を、ぼかすには ⊲ を押します。

3 決定ボタンを押す。

画像調整されます。

4 印刷ボタンを押す。

画像に特殊な効果を付ける（エフェクト）

1 画像編集メニュー（18 ページ）から ⊲/⊳ ボタンで、（エフェクト）を選び、決定ボタンを押す。

エフェクトメニューが表示されます。



2 △/▽ ボタンで、画像に付けたい特殊効果を選ぶ。

- **ノーマル：**
  特殊効果を付けていない状態に戻ります。
- **ワンポイントカラー**
  指定した色以外の色を白黒に変換します。
- **絵画調**
  絵画のような画像になります。

> **SILKYPIX®**
> 本機の絵画調フィルターは
> ㈱市川ソフトラボラトリー社の技術を使用しています。

- **クロスフィルター：**
  光源を十字に輝かせることで、きらびやかな印象に仕上げます。

- **パートカラー**：
  周囲を白黒にして、中心の被写体を引き立たせます。
- **セピア**：
  色褪せた古い写真のような画像になります。
- **モノクロ**：
  白黒写真のような画像になります。
- **魚眼**：
  魚眼レンズで撮影した写真のような画像になります。

3 決定ボタンを押す。

特殊効果がつきます。クロスフィルター、絵画調、ワンポイントカラーを選んだ場合は、設定画面が表示されます。次の手順に進んでください。

4 レベルや範囲を設定する。

■クロスフィルター

① △/▽ ボタンで［レベル］を選び、決定ボタンを押す。△/▽ ボタンでレベルを調整し、決定ボタンを押す。レベルが上がると、より多くの光源がきらびやかになります。

② △/▽ ボタンで［長さ］を選び、決定ボタンを押す。△/▽ ボタンで光の長さを調整し、決定ボタンを押す。

■絵画調

△/▽ ボタンで線の長さを選び、決定ボタンを押す。

■ワンポイントカラー

決められた色から選択する

◁/▷ ボタンで残したい色を選び、決定ボタンを押します。



指定された色を選んだ場合は、画像が表示されます。

写真の中から色を選択する

①△/▽ ボタンで「好きな色を指定」を選び決定ボタンを押す。

② ◁/▷/△/▽ ボタンで好きな色の位置を指定し、決定ボタンを押す。



③ ◁/▷ ボタンで決定した色の範囲を指定する。

ダイレクトプリント編

次のページにつづく



④ 決定ボタンを押して確定する。
画像が表示されます。

5 印刷ボタンを押す。

ちょっと一言

やり直す場合は、[ノーマル] を選択してから操作をやり直してください。

赤目を補正する

フラッシュを使って撮影した画像などで、赤く写ってしまった被写体の目を、くっきり補正ボタンで直すことができなかった場合に、手動で補正することができます。

ご注意

赤目の補正後に、拡大、縮小、回転、移動を行うと正しく補正されないことがあります。
画像の拡大、縮小、回転、移動後に赤目の補正を行うようにしてください。

1 画像編集（18 ページ）から ◁/▷ ボタンで、（赤目の補正）を選び、決定ボタンを押す。

画像内に、赤い補正枠が表示されます。枠は、赤目の補正を行う範囲を表しています。

補正枠



2 補正枠の位置と大きさを調整する。

片目ずつ補正を行ってください。

■補正枠の位置を移動するには

① ◁/▷ ボタンで、（移動）を選び、決定ボタンを押す。
② ◁/▷/△/▽ ボタンを押して補正枠を移動する。
③ 決定ボタンを押す。
補正枠の位置が確定します。

■補正枠の大きさを変更するには

◁/▷ ボタンを使って、（拡大）、（縮小）を選び、決定ボタンを押す。
決定ボタンを押すたびに、補正枠が拡大、または縮小します。
本体の、ボタンを押しても、拡大、縮小することができます。

ちょっと一言

補正枠は瞳の大きさの 2 〜 7 倍の大きさに設定してください。

3 ◁/▷ ボタンで、OK を選び、決定ボタンを押す。

補正範囲が拡大されて表示されます。

4 決定ボタンを押す。

赤目の補正が確定し、赤目補正メニューに戻ります。複数の補正をするには手順 2 〜 4 を繰り返します。

5 ◁/▷ ボタンで、↩ を選び、決定ボタンを押す。

画像編集メニューに戻ります。

6 印刷ボタンを押す。

補正を取り消すには

手順 5 で取消ボタンを押します。

編集した画像をプリントする

1 印刷ボタンを押す。

プリント枚数が表示されます。

2 プリント枚数を設定する。

- 枚数を 1 枚ずつ増やすには、△ ボタンを繰り返し押します。
- 枚数を 1 枚ずつ減らすには、▽ ボタンを短く繰り返し押します。
- 枚数を1枚に戻すには、▽ボタンを2秒以上長押しします。

3 印刷ボタンを押す。

編集した画像を保存する

1 （保存）を選び、決定ボタンを押す。

画像の保存先を選ぶダイアログボックスが表示されます。

2 保存先を選ぶ。

△/▽ ボタンでメモリーカード（[メモリースティック]、[コンパクトフラッシュ]、[SD カード]、[xD-Picture カード] または [外部機器]）を選び、決定ボタンを押します。

ちょっと一言

[外部機器] を選択した場合、ドライブ選択画面が表示される場合があります。保存先のドライブを選択してください。

日付けの設定画面が表示されます。画像は設定した日付で保存されます。

3 日付けを設定する。

◁/▷ ボタンで項目（年、月、日）、△/▽ ボタンで数字を選択し、決定ボタンを押します。



画像編集またはクリエイティブプリントでの編集結果が、新規の画像として保存されます。

画像の保存番号が表示されます。

ちょっと一言

元の画像は上書きされません。

4 決定ボタンを押す。

ご注意

- 画像の保存中は、電源を切ったり、メモリーカードや外部機器を取りはずしたりしないでください。本機やメモリーカードを破損したり、データを破損する場合があります。
- 内蔵画像の保存はできません。

クリエイティブプリントを作る

クリエイティブプリントについて

ご注意

用紙サイズによって、選べるひな形の種類が異なります。あらかじめインクリボンとプリントペーパーをセットしたサイズでクリエイティブプリントのひな形を選択してください。作成後のインクリボンとプリントペーパーのサイズ変更は行なわないでください。

途中で操作をやり直すには

取消ボタンを押します。ひとつ前の手順の画面が表示されます。操作手順によってはやり直せない場合もあります。

クリエイティブプリントを終了するには

- 操作途中で、メニューボタンを押し、［クリエイティブプリントの終了］を選びます。
- プレビュー画像で✕を選び、決定ボタンを押します。
  画像の保存の確認画面が表示される場合があります。（25 ページ）

ちょっと一言

クリエイティブプリント作業中もメニューボタンを押して他のメニューを選び、一部のメニューの設定ができます。

スクラップブックを作る

1 **クリエイティブプリントメニュー（19 ページ）から、◁/▷/△/▽ ボタンで、（スクラップブック）を選び、決定ボタンを押す。**

テーマを選ぶ画面が表示されます。

2 **◁/▷/△/▽ ボタンでテーマを選び、決定ボタンを押す。**

選択したテーマのひな形を選ぶ画面が表示されます。

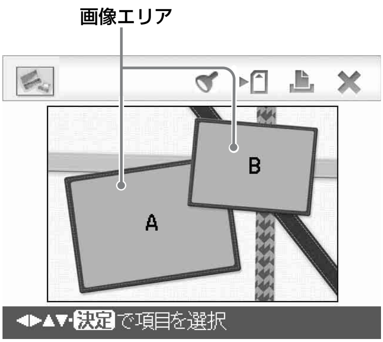


3 **◁/▷/△/▽ ボタンでひな形を選び、決定ボタンを押す。**

選択したひな形が表示されます。

4 **画像を選択する。**

複数の画像が入るひな形を選んだときは、それぞれの画像エリアについて画像を選びます。



① ◁/▷/△/▽ ボタンで画像エリアを選び、決定ボタンを押す。
画像選択画面が表示されます。
② ◁/▷/△/▽ ボタンで画像を選び、決定ボタンを押す。
画像の調整画面が表示されます。

5 画像の位置や大きさなどを調整する。

◁/▷ ボタンで調整ボタンを選び、決定ボタンを押します。



項目	操作方法
⊖／⊕	ボタンを押すと、画像を拡大、縮小します。
	◁/▷/△/▽ ボタンを押して移動し、決定ボタンで位置を確定します。
	決定ボタンを押すと、時計方向に 90 度回転します。
	ボタンを押すと、自動的に逆光、ピンボケ、赤目などを補正します。(20 ページ)

6 ◁/▷ ボタンで OK を選び、決定ボタンを押す。

画像が画像エリアに追加されます。

スタンプを貼り付けるには、「スタンプをつける」（30 ページ）をご覧ください。

7 印刷ボタンを押す。

保存するには 25 ページをご覧ください。

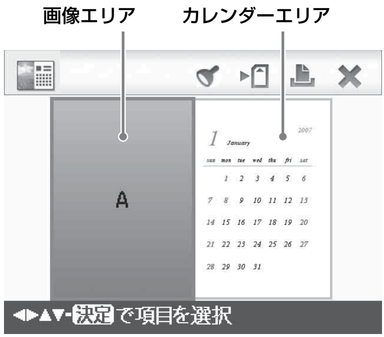
カレンダーを作る

1 クリエイティブプリントメニュー（19 ページ）から ◁/▷/△/▽ ボタンで、（カレンダー）を選び、決定ボタンを押す。

カレンダーのひな形を選ぶ画面が表示されます。

2 ◁/▷/△/▽ ボタンでひな形を選び、決定ボタンを押す。

選択したひな形のプレビュー画像が表示されまます。



ちょっと一言

どのエリアを先に選択してもかまいません。

3 画像を選択する。

複数の画像が入るひな形を選んだときは、それぞれの画像エリアについて画像を選びます。選択方法は、26 ペー

次のページにつづく

ジの手順 4 をご覧ください。画像を選択すると調整画面が表示されます。

4 画像を調整する。

調整方法については、27 ページの手順 5 をご覧ください。画像は、画像エリアに追加されます。

5 カレンダーを設定する。

① ◁/▷/△/▽ ボタンでカレンダーエリアを選び、決定ボタンを押す。
カレンダー設定画面が表示されます。



② △/▽ ボタンで変更したい項目を選び、決定ボタンを押す。

項目	設定内容
開始月	カレンダーを開始する年と月を設定します。◁/▷ ボタンで年を選び、△/▽ ボタンで数値を変更し、決定ボタンを押します。同様に月も設定します。
開始曜日	カレンダーの左端にくる曜日を設定します。△/▽ ボタンで[日曜日]または[月曜日]を選び決定ボタンを押します。
色	休日の表示色を設定します。△/▽ ボタンで日曜日·祝日·土曜日の文字色を選び決定ボタンを押します。

項目	設定内容
カレンダー加工	カレンダーの特定の日にスタンプを付けたり、指定した色を付けることができます。 **(例)「スタンプ」を選んだ場合** ① ◁/▷ ボタンで (スタンプ) を選び、決定ボタンを押す。 スタンプ選択画面が表示されます。 ② ◁/▷/△/▽ ボタンでスタンプを選び、決定ボタンを押す。  カレンダー画面が表示されます。 ③ ◁/▷/△/▽ ボタンでスタンプを付けたい日付を選び、決定ボタンを押す。  ④ △/▽ ボタンでOKを選び、決定ボタンを押す。 カレンダー加工を終了するには、◁/▷ ボタンでOKを選び、決定ボタンを押してカレンダー設定画面に戻ります。 日付色変更も同じ操作になります。

カレンダーがカレンダーエリアに表示されます。

6 **印刷ボタンを押す。**

保存するには 25 ページをご覧ください。スタンプを貼り付けるには、「スタンプをつける」（30 ページ）をご覧ください。

ご注意

カレンダーの祝祭日は、2007 年現在の祝祭日を参考にしています。今後変更された場合には、手動で色をかえてください。また、春分、秋分の日は、計算による日にちを使っています。実際の日にちとずれることがありますので、その場合も手動で変更してください。

手書き合成やメッセージを入れる

ちょっと一言

手書きの文字やイラストを制作する場合は、あらかじめ白い用紙に黒いペンなどで文字などを描き、デジタルカメラで撮影し、メモリーカードに用意しておいてください。

1 **（クリエイティブプリントメニュー（19 ページ））から ◁/▷/△/▽ ボタンで、（手書き合成）を選び、決定ボタンを押す。**

2 **背景になる画像を選ぶ。**

① ◁/▷/△/▽ ボタンで背景にしたい画像を選び、決定ボタンを押す。
画像の調整画面が表示されます。
調整方法については、27 ページをご覧ください。

② ◁/▷ ボタンで OK を選び、決定ボタンを押す。
プレビュー画面が表示されます。

3 **手書きの文字やイラスト、または定型メッセージを合成する。**

■手書きメッセージを合成する

① ◁/▷ ボタンで、（手書きメッセージ）を選び、決定ボタンを押す。



画像選択画面が表示されます。

② ◁/▷/△/▽ ボタンで合成したい画像を選び、決定ボタンを押す。
用意した画像を選びます。トリミング用のカーソルが表示されます。



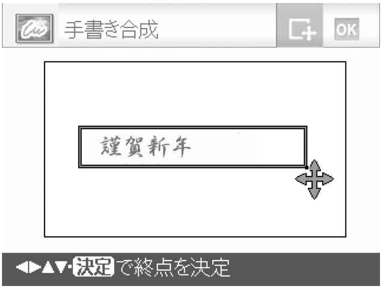
③ そのままでよければ決定ボタンを押す。

自分でトリミング範囲を指定したいときは

（トリミング範囲指定）ボタンを選びます。
◁/▷/△/▽ ボタンでトリミングの始点にしたい場所にカーソルを移動し、決定ボタンを押します。

次のページにつづく

同様にトリミングの終点設定します。



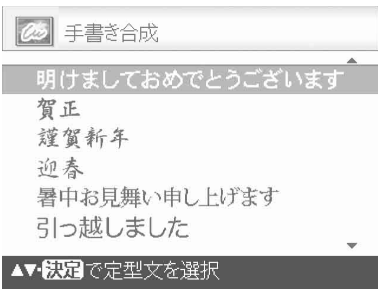
色選択画面が表示されます。

④ ◁/▷/△/▽ ボタンで色を選び、決定ボタンを押す。
貼付け画像の調整画面が表示されます。調整方法については、27 ページをご覧ください。

⑤ ◁/▷ ボタンでOKを選び、決定ボタンを押す。
プレビュー画像が表示されます。背景の画像上に手書きの文字またはイラストが表示されます。

■定型メッセージを合成する

① ◁/▷ボタンで、T(定型メッセージ)を選び、決定ボタンを押す。
定型メッセージ選択画面が表示れます。



② △/▽ ボタンで合成したい定型メッセージを選び、決定ボタンを押す。
色選択画面が表示されます。

③ ◁/▷/△/▽ ボタンで色を選び、決定ボタンを押す。
定型メッセージの調整画面が表示されます。調整方法については、27 ページをご覧ください。

④ ◁/▷ ボタンでOKを選び、決定ボタンを押す。
プレビュー画像が表示されます。
メッセージが背景の画像上に表示されます。

■スタンプをつける

① ◁/▷ ボタンで、（スタンプ）を選び、決定ボタンを押す。
スタンプ選択画面が表示されます。

② ◁/▷/△/▽ ボタンでスタンプを選び、決定ボタンを押す。
スタンプの調整画面が表示されます。調整方法については、27 ページをご覧ください。

③ ◁/▷ ボタンでOKを選び、決定ボタンを押す。
スタンプが背景の画像上に表示されます。

複数のスタンプを貼付けるには

手順 ②、③ を繰り返します。

4 印刷ボタンを押す。

保存するには 25 ページをご覧ください。

複数のメッセージを貼付けるには

◁/▷ ボタンで(手書きメッセージ）またはT(定型メッセージ）を選び、決定ボタンを押し、手順 3 を繰り返します。

フレームを付ける

1 **クリエイティブプリントメニュー（19 ページ）から ◁/▷/△/▽ ボタンで、（フレーム）を選び、決定ボタンを押す。**

フレームを選ぶ画面が表示されます。



2 **◁/▷/△/▽ ボタンでフレームを選び、決定ボタンを押す。**

画像がインデックス表示されます。

3 **◁/▷/△/▽ ボタンで画像を選び、決定ボタンを押す。**

画像の調整画面が表示されます。調整方法については、27 ページをご覧ください。

4 **◁/▷ ボタンで OK を選び、決定ボタンを押す。**

画像がフレーム付きで表示されます。

5 **印刷ボタンを押す。**

スタンプを貼り付けるには、「スタンプをつける」（30 ページ）をご覧ください。

分割写真を作る

以下のような分割写真が作れます。

- L サイズ：2 分割、4 分割、9 分割
- P サイズ：2 分割、4 分割、9 分割、13 分割、16 分割

1 **クリエイティブプリントメニュー（19 ページ）から ◁/▷/△/▽ ボタンで、（分割写真）を選び、決定ボタンを押す。**

分割写真のひな形を選ぶ画面が表示されます。



2 **◁/▷/△/▽ ボタンでひな形を選び、決定ボタンを押す。**

選択したひな形のプレビュー画像が表示されます。

3 **画像を選択する。**

複数の画像が入るひな形を選んだときは、それぞれの画像エリアについて画像を選びます。選択方法は、26 ページの手順 4 をご覧ください。画像を選択すると調整画面が表示されます。

4 **画像を調整する。**

調整方法については、27 ページをご覧ください。画像は、画像エリアに追加されます。

次のページにつづく

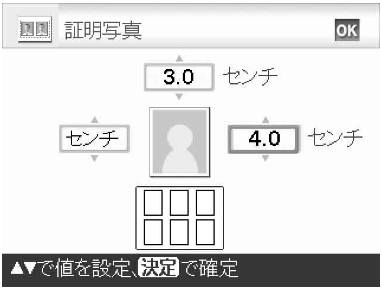
スタンプを貼り付けるには、「スタンプをつける」（30 ページ）をご覧ください。

5 印刷ボタンを押す。

証明写真を作る

1 クリエイティブプリントメニュー（19 ページ））から ◁/▷/△/▽ ボタンで、（証明写真）を選び、決定ボタンを押す。

証明写真の高さ、幅を指定する画面が表示されます P サイズのとき最大で 7 x 9cm、L サイズのとき最大で 6 x 8 cm まで指定できます。



2 ◁/▷/△/▽ ボタンで、調整したい項目を選び、決定ボタンを押す。

カーソルが数字側に移動します。

- 単位を指定するには：写真枠左のボックスを選びます。
- 縦の長さを指定するには：写真枠右の数字ボックスを選びます。
- 横の長さを指定するには：写真枠上の数字ボックスを選びます。

3 △/▽ ボタンでサイズまたは単位を設定し、決定ボタンを押す。

設定したサイズのレイアウトイメージが表示されます。

4 他の項目も設定したい場合は、手順 2 と 3 を繰り返す。

5 ◁/▷/△/▽ ボタンで OK を選び、決定ボタンを押す。

画像選択画面が表示されます。

6 ◁/▷/△/▽ ボタンで画像を選び、決定ボタンを押す。

画像の調整画面が表示されます。
下記の項目も設定できます。

項目	操作方法
	画質の調整ができます。(21 ページ)
	赤目補正の画面が表示されます。(24 ページ)
	画像を白黒にします。(22 ページ)

このほかのアイコンについては、27 ページをご覧ください。

7 ◁/▷ ボタンで OK を選び、決定ボタンを押す。

8 印刷ボタンを押す。

ご注意

本機でプリントした写真が証明写真としてご利用できない場合があります。事前に提出先に必要条件をご確認ください。

まとめてプリント

（インデックス／ DPOF ／全画像）

- **インデックスプリント**
  メモリーカードまたは外部機器内の全画像を分割画面でプリントできます。画像を確認するときに便利なプリントです。分割画面数は自動的に計算され、プリントされます。



- **全画像プリント**
  メモリーカードまたは外部機器内の全画像をプリントすることができます。
- **DPOF プリント**
  一枚表示画面で、プリントマーク（ ）の付いた画像（デジタルカメラなどでDPOF（Digital Print Order Format）でプリント予約された画像）を、表示順に予約された枚数、まとめてプリントできます。

ご注意

- デジタルカメラなどでのプリント予約方法については、お使いのデジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。
- デジタルカメラなどにはプリント予約に対応していない機種もあります。また、機種によっては本機では対応できない場合もあります。

1 **メニューから、 （まとめてプリント）を選び、決定ボタンを押す。**
まとめてプリントメニューが表示されます。

2 **△/▽ ボタンで、[インデックスプリント]、[DPOF プリント] または [全画像プリント] のいずれかを選び、決定ボタンを押す。**
確認画面が表示されます。

ご注意

[DPOF プリント] を選んだ場合、DPOF でプリント予約された画像がない場合は、エラーメッセージが表示され選べません。

3 **プリントしたい場合は◁/▷ボタンで [はい] を選び、プリントを中止したい場合は [いいえ] を選び、決定ボタンを押す。**
「はい」を選んだときは、印刷が始まります。

スライドショー

スライドショーを表示する

1 **メニューから、(スライドショー)を選び、決定ボタンを押す。**

スライドショーメニューが表示されます。

2 **△/▽ ボタンで［切換え］を選び、決定ボタンを押す。**

スライドショーでの画像の切り換え方法を選ぶ画面が表示されます。

項目	操作方法
手動	表示する画像を手動で切り換えます。
自動 1 シンプル	画像がインデックス表示の順番に自動的に切り換わります。
自動 2* クリエイティブ	クリエイティブプリントや、画像編集のエフェクト効果をかけた画像をランダムに表示します。

* 工場出荷時の設定

3 **△/▽ ボタンで［実行］を選び、決定ボタンを押す。**

印刷を予約する

スライドショー中に決定ボタンを押すと、表示されている画像が印刷予約されます。「自動 2」では予約されません。

スライドショーを終了するには

取消ボタンを押します。

ご注意

画像によっては、表示されるまでに時間がかかる場合があります。

印刷をする

スライドショー中に印刷ボタンを押す。

表示されている画像が印刷プレビュー表示されます。

印刷予約がされている場合は、◁/▷ ボタンでを押して確認することができます。

もう一度印刷ボタンを押すと、印刷が始まります。

印刷終了後、スライドショーに戻ります。

ファイル操作する

画像をコピーする

メモリーカードの画像を、他のメモリーカード、または PictBridge/EXT INTERFACE 端子に接続している外部機器にコピーできます。

1 メニューから、（ファイル操作）を選び、決定ボタンを押す。

ファイル操作メニューが表示されます。（19 ページ）

2 △/▽ ボタンで［一括ファイルコピー］または［選択ファイルコピー］を選び、決定ボタンを押す。

- ［一括ファイルコピー］を選択した場合は、手順 5 を参照してください。
- ［選択ファイルコピー］を選択したときは、メモリーカードまたは外部機器の画像がインデックス表示されます。

3 ◁/▷/△/▽ボタンでコピーしたい画像を選び、決定ボタンを押す。

複数の画像をコピーするときは、この操作を繰り返します。

選択を解除するには

◁/▷/△/▽ ボタンで解除したい画像を選び、決定ボタンを押します。

4 メニューボタンを押す。

コピー先を選ぶ画面が表示されます。

5 △/▽ ボタンで、メモリーカード（[メモリースティック]、[コンパクトフラッシュ]、[SD カード]、[xD-Picture カード] または［外部機器］からコピー先を選び、決定ボタンを押す。

ちょっと一言

外部機器を選択した場合、ドライブ選択画面が表示される場合があります。画面にしたがって、保存先のドライブを選択してください。

ご注意

コピー元と同じメモリーカード、または外部機器にはコピーできません。

6 △/▽ ボタンでフォルダを選び、決定ボタンを押す。

選択したフォルダ内に、画像がコピーされます。

ちょっと一言

- コピー先のフォルダ番号が選べます。ファイルがない場合は、新規フォルダを作成します。
- 取消ボタンを押すと、ファイル操作メニューが終了します。

ご注意

画像のコピー中は、電源を切ったり、メモリーカードや外部機器をはずさないでください。プリンター本体、メモリーカード、外部機器、またはデータが破損する場合があります。

選んだ画像を削除する

メモリーカードの画像を選んで削除できます。

1 メニューから、（ファイル操作）を選び、決定ボタンを押す。

ファイル操作メニューが表示されます。（19 ページ）

次のページにつづく

2 △/▽ ボタンで［画像削除］を選び、決定ボタンを押す。

メモリーカードのインデックス表示画面が表示されます。

ゴミ箱アイコン



3 ◁/▷/△/▽ボタンで削除したい画像にゴミ箱アイコンを移動し、決定ボタンを押す。

複数の画像を削除するときは、この操作を繰り返します。

選択を解除するには

◁/▷/△/▽ ボタンで解除したい画像を選び、決定ボタンを押します。

4 メニューボタンを押す。

確認の画面が表示されます。

5 ◁/▷ ボタンで［OK］を選び、決定ボタンを押す。

選択した画像が削除されます。

ちょっと一言

取消ボタンを押すと、ファイル操作メニューが終了します。

ご注意

- 画像の削除中は、電源を切ったり、メモリーカードを取り出さないでください。プリンター本体、メモリーカード、またはデータが破損する場合があります。
- 削除した画像はもとに戻りません。実行する前に内容を確認してください。
- 関連ファイルマーク（ ）の付いた画像を削除した場合、E メール用の画像や動画なども削除されます。
- プロテクトマーク（ ）またはプリント予約マーク（ ）の付いた保護されているファイルは削除できません。削除する場合は、デジタルカメラで操作してください。詳しくは、お使いのデジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。

" メモリースティック " を初期化する

1 メニューから、 （ファイル操作）を選び、決定ボタンを押す。

ファイル操作メニューが表示されます。（19 ページ）

2 △/▽ ボタンで［メモリースティックの初期化］を選び、決定ボタンを押す。

確認画面が表示されます。

3 ◁/▷ ボタンで［OK］を選び、決定ボタンを押す。

" メモリースティック " が初期化されます。

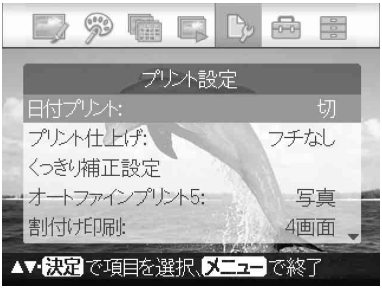
ご注意

- 初期化を行った場合、画像ファイル以外のファイルもすべてなくなります。プロテクトマークがついている画像も消去されます。
- " メモリースティック " の初期化中は、電源を切ったり、メモリーカードを取り出さないでください。プリンター本体やメモリーカードが破損する場合があります。
- " メモリースティック " 以外のメモリーカードや外部機器の初期化はできません。

プリント時の設定を変える

1　メニューから、(プリント設定)を選び、決定ボタンを押す。

プリント設定メニューが表示されます。



ご注意

クリエイティブプリント操作中は、プリント画質以外の設定はできません。(設定できない項目は灰色で表示されます。)

2　△/▽ ボタンで変更したい項目を選び、決定ボタンを押す。

それぞれの項目の設定画面が表示されます。

3　△/▽ ボタンで設定を選び、決定ボタンを押す。

設定内容が確定されます。

ちょっと一言

プリント設定を終了するには、メニューボタンを押します。

次のページにつづく

項目	設定	内容
日付プリント	日付 日付／時間	画像が DCF(Design rule for Camera File system)にそって撮影された場合、撮影情報として記録されている撮影日時を入れて、プリントします。撮影日時、または日付のみのいずれかを選べます。本機で画像を加工、編集した場合、保存時に表示される日時設定画面で入力した日時がプリントされます。
	切 *	画像に日付を入れずにプリントします。
プリント仕上げ	フチあり 1／フチあり 2	画像の回りに余白を残してプリントします。画像がカットされることなくプリントしたいときは、[フチあり 1]を選びます。上下左右に均一の余白を作りたいときは、[フチあり 2]を選びます。 **ご注意** [フチあり 2]を選んだ場合、画像によっては上下または左右がカットされてプリントされることがあります。
	フチなし *	画像の回りに余白を残さずプリントします。 **ご注意** デジタルカメラなどで撮影した一般的な 4:3 の画像をプリントすると、上下がカットされ、3:2 の画像でプリントされます。  フチあり 1  フチあり 2  フチなし
くっきり補正設定	美肌補正／逆光補正／ピンボケ補正／赤目補正	くっきり補正ボタンを押して画像を補正する場合の、補正内容の強弱を設定することができます。以下の項目について、それぞれ、「切」、「標準 *」、「強」(赤目補正は「切」、「入 *」)のいずれかを設定します。 • 美肌補正：自動的に肌を認識し、美しい肌に補正します。 • 逆光補正：顔検出機能を使って明るさを補正します。 • ピンボケ補正：ピンボケの画像をフォーカスの合った画像に補正します • 赤目補正：フラッシュによる赤目を補正します。

*:工場出荷時の設定

項目	設定	内容
オートファインプリント 5	写真 * ／鮮やか	より鮮明で美しい画質でプリントするために、自動的に画像を補正してプリントする機能です。全体的に暗い画像やコントラストのない画像をプリントする場合に特に有効で、更に肌色や草木の緑、空の青さもより自然に、より鮮やかに補正します。 • 写真：画像を自動的に補正し、自然で綺麗にプリントします。（推奨） • 鮮やか：画像を自動的に補正し、写真モードよりもさらに鮮やかにプリントします。 **ちょっと一言** Exif2.21 規格対応のデジタルカメラで撮影された画像については、画像に記録された Exif 情報に基づいた補正も行われます。 **ご注意** • 元画像データ自体は補正されません。 • パソコンモードでプリントする場合は、プリンタードライバーでのオートファインプリント 5 の設定が優先されます。PictBridge モードでは、プリンター本体の設定が有効になります。
	切	画像を補正せずにそのままプリントします。
割付け印刷	4 画面／9 画面／16 画面	プリントペーパーに選択した画面数を割付けてプリントします。
	切 *	割付け印刷は無効になり一画面でプリントします。
プリント画質	プリントの色あい、シャープネスを調整します。◁/▷ ボタンで [R]（赤）、[G]（緑）、[B]（青）それぞれの色要素、[S]（シャープネス）を選び、△/▽ ボタンで数値を大きくまたは小さく設定します。[RGB] は＋ 4 ～ー4、[S] は＋ 7 ～ 0 の間で調整できます。 R：赤と水色の成分を調整します。値を大きくすると、赤い光を軽くあてたように赤味が増します。値を小さくすると、暗くなり赤味が落ちます。また同時に水色を加えたようになります。 G：緑と赤紫の成分を調整します。値を大きくすると、緑の光を軽くあてたように緑味が増します。値を小さくすると、暗くなり緑味が落ちます。また同時に赤紫色を加えたようになります。 B：青と黄色の成分を調整します。値を大きくすると、青い光を軽くあてたように青味が増します。値を小さくすると、暗くなり青味が落ちます。また同時に黄色を加えたようになります。 S：画像の輪郭を調整します。値を大きくすると輪郭が鮮明になります。 （*R:0/G:0/B:0/S:0）	

*：工場出荷時の設定

表示／プリンター本体を設定する

1　メニューから、（表示／本体設定）を選び、決定ボタンを押す。

表示／本体設定メニューが表示されます。



2　△/▽ ボタンで変更したい項目を選び、決定ボタンを押す。

それぞれの項目の設定画面が表示されます（次ページ）。

ご注意

画像編集またはクリエイティブプリント操作中は、設定できない項目があります。設定できない項目は灰色で表示され、選択できません。

3　△/▽ ボタンで設定を選び、決定ボタンを押す。

設定内容が確定されます。

ちょっと一言

- 表示／本体設定を終了するには、メニューボタンを押します。
- 設定を工場出荷時の設定に戻すには、[工場出荷時の設定に戻す] を選び、決定ボタンを押します。調整値が無効になり、お買い上げ時の設定に戻ります。

項目	設定	内容
インデックス表示	ファイル名順 *	インデックス表示画面で画像番号順に表示します。
	撮影日順	インデックス表示画面で日付ごとに画像を表示します。
画像表示順	昇順 *	インデックス表示画面で画像番号の小さい画像から順に表示します。
	降順	インデックス表示画面で画像番号の大きい画像から順に表示します。
マーク表示	入	インデックス表示画面で、サムネイル(見出し用小画像) のない画像を、マーク(アイコン)で表示します。
	切 *	インデックス表示画面で、サムネイル(見出し用小画像)データがない画像を、本画像で表示します。
日付表示順	日付(年、月、日)の表示順を次のいずれかから設定します。 年／月／日 *　　月／日／年　　日／月／年	
LCD バックライト	LCD(液晶画面)のバックライトの明るさを次のいずれかから設定します。 明るい * ／暗い	
OSD 表示	画像の一枚表示画面で、情報表示を以下のいずれかから選びます。(14 ページ) 入 * ／切／詳細	
HDMI 機器制御	入 *	HDMI 機器制御に対応したテレビに接続して、テレビとの様々な連動機能を使用できます。(42 ページ)
	切	HDMI 機器制御の機能を使用できません。
本体情報表示	バージョン番号と総プリント枚数が表示されます。	
言語	液晶画面に表示される言語(25 言語)を設定します。 日本語 * ／英語／フランス語／スペイン語／ドイツ語／イタリア語／ロシア語／中国語(簡体字)／中国語(繁体字)／韓国語／アラビア語／ポルトガル語／オランダ語／ペルシャ語／ハンガリー語／ポーランド語／チェコ語／タイ語／ギリシャ語／トルコ語／マレーシア語／スウェーデン語／ノルウェー語／デンマーク語／フィンランド語	
工場出荷状態に戻す	メニュー設定を工場出荷状態に戻します。	

*:工場出荷時の設定

ハイビジョンテレビにつないでプリントする

本機は HDMI 出力が可能です。HDMI 入力があるテレビにつなぐと、テレビでより高精細な写真を見ながらプリント操作を行うことができます。

テレビにつなぐ

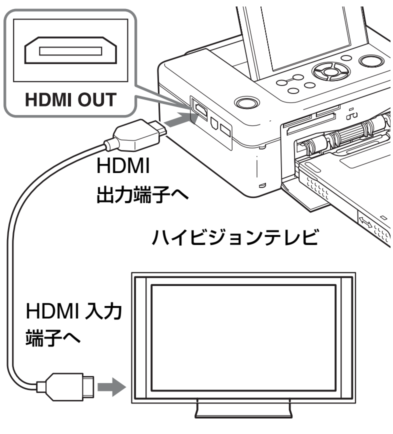
市販の HDMI ケーブルを使って、本機の HDMI OUT 端子 (AType コネクター) とテレビの HDMI 入力端子をつなぎます。

1 市販の HDMI ケーブルを用意する。

ご注意

- HDMI ケーブルは 3m 未満のものをお使いください。
- HDMI ケーブルは、HDMI ロゴを取得したケーブルをお使いください。

2 プリンターの HDMI 出力端子と、テレビの HDMI 入力端子をつなぐ。



テレビへ映像信号を出力中は、プリンターの液晶画面は消えます。

3 テレビの入力を切り換える。

HDMI 機器制御に対応したテレビでは、接続後プリンターの電源を入れると、テレビの入力切換が自動的に切り換わり、プリンターの画像が表示されます。テレビがスタンバイ状態だった場合には電源も連動して入ります。

ご注意

- すべてのテレビとの動作を保証するものではありません。
- テレビの設定で「HDMI機器制御」がOFFになっている場合は切り換わりません。設定方法は、テレビによって異なります。テレビに付属の取扱説明書をご覧ください。
- プリンターの「HDMI 機器制御」が「切」になっている場合は切り換わりません。(41 ページ)
- HDMI 機器制御に対応していないテレビをお使いの場合または、初めて本機とテレビを接続する場合など自動で切り換わらない場合は、手動でテレビの入力を切り換えてプリンターの画面を表示してください。
  入力切換の操作方法は、テレビによって異なります。テレビに付属の取扱説明書をご覧ください。
- プリンターが、画像処理中、印刷中など時間がかかる動作をしている間に、HDMI ケーブルを抜き差しした場合は、液晶画面とテレビが切り換わりますが、動作が完了するまでは、通常の画面とは異なる表示をすることがあります。
  また、ファイル操作中（ファイルコピー、ファイル削除など）は、HDMI ケーブルを抜き差ししないでください。
  途中で HDMI ケーブルを抜き差しした場合は、処理をキャンセルします。

プリントする

本体のボタンで操作する

プリンター本体のボタンを使ってプリント操作を行います。

1 **プリンターにメモリーカードを入れる。**

2 **プリンター本体の ◁/▷ ボタンと [決定] で画像を選択し、印刷ボタンを押してプリントする。**

操作方法はプリンター単体での操作方法と同じです。画像編集やクリエイティブプリントの操作も可能です。

ご注意

画像編集中やクリエイティブプリント中は、画面の上下左右に黒帯が表示され、画像が粗く表示されます。

テレビのリモコンを使って操作する

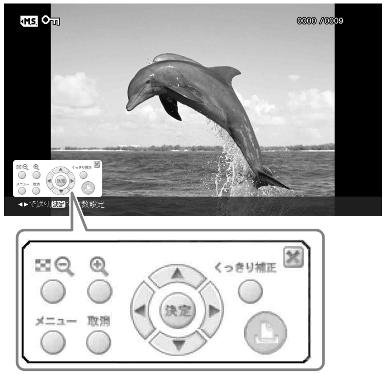
HDMI 機器制御に対応したテレビの場合、テレビ付属のリモコンでプリンターの操作をすることが可能です。

ご注意

- すべてのテレビとの動作を保証するものではありません。
- ソニー製のテレビの場合は、「ブラビアリンク（リンクメニュー対応）」のテレビ以外では、リモコンでの操作はできません。
- プリンターを操作するには、リモコンの ⇦ ⇨ ⇧ ⇩[決定][戻る]ボタンがHDMI機器制御に対応している必要があります。
- テレビの設定でHDMI機器制御がOFFになっている場合はリモコンでの操作はできません。設定方法は、テレビによって異なります。テレビに付属の取扱説明書をご覧ください。
- プリンターの「HDMI 機器制御」が「切」になっている場合はリモコンでの操作はできません。(41 ページ)

■ テレビリモコンでのプリンターの基本操作

- 一覧表示や、メニューを表示中などカーソルが表示されている場合は、⇧⇩⇦⇨ を押すと、カーソルが移動します。
- 一枚表示中などカーソルが表示されていない場合は、⇧ または、ソニー製テレビの場合は [リンクメニュー] ボタンを押します。画面に、プリンター本体の操作部分の形をした操作パネルが表示されますので、押したいボタンを ⇧⇩⇦⇨ で選択して、[決定] を押します。



画面に表示されるプリンター操作パネル

- 操作パネルを消すには、画面の操作パネル右上の ✖ を選択するか、リモコンまたは、プリンター本体の [取消] ボタンを押します。

ダイレクトプリント編

次のページにつづく

リモコン操作でのご注意

リモコン操作では、下記の操作はできません。

- 一覧表示からの印刷
- 画像を複数選択して削除･コピーする

■ プリントする

1 **プリンターにメモリーカードを入れる。**

2 **テレビリモコンの ⇦⇨ ボタンで画像を選択し、⇧ ボタンで画面にプリンター操作パネルを表示して、（プリント）を選択する。**

■ メニューを表示する

⇧ で画面にプリンター操作パネルを表示し、⇧⇩⇦⇨ で [MENU] を選択して、[決定] を押します。

画像編集やクリエイティブプリントの操作も可能です。

ご注意

画像編集中やクリエイティブプリント中は、画面の上下左右に黒帯が表示され、画像が粗く表示されます。

HDMI 機器制御について

本機では、「HDMI 機器制御」が「入」の状態で、以下の機能を使用することができます。

- テレビと連動してプリンターの電源を切ることができます。
- プリンターをテレビに接続後、電源を入れるか、電源が入った状態のプリンターをテレビに接続することで、テレビの入力をプリンターに切り換えることができます。この際、テレビがスタンバイ状態の場合には連動して電源が入ります。
- テレビのリモコンを使用してプリンターの操作を行うことができます。
- プリンターとテレビが接続された状態で、テレビの表示言語切り換えると、連動してプリンターの表示言語を切り換えます。

ご注意

ご使用のテレビがそれぞれの機能をサポートしている必要があります。

「ブラビア プレミアムフォト」について

本機は、「ブラビア プレミアムフォト」に対応しています。「ブラビア プレミアムフォト」は、写真らしい高精細で微妙な質感や色あいを表現する機能です。「ブラビア プレミアムフォト」対応のソニー製機器同士の組み合わせで、写真を美しいフル HD 画質で楽しめます。人肌や、花びらの繊細な描写、砂浜や波の質感など、美しいフォト画質を大画面で楽しめます。

「ブラビアリンク」とは

「ブラビアリンク」は、HDMI のコントロール信号を使用して、「ブラビア」のリモコンで連動操作ができるソニー商品の機能名称です。

本機と「ブラビアリンク（リンクメニュー対応）」の「ブラビア」を HDMI ケーブルで接続すると、「ブラビア」のリモコンで連動操作が行えます。

外部機器から プリントする

本機とマスストレージ対応のデジタルカメラ、USB メモリー、フォトストレージ、デジタルフォトフレームなどの外部機器を接続し、画像をプリントできます。

ご注意

- すべての外部機器との接続を保証するものではありません。
- 本機にメモリーカードが挿入されていると、PictBridge/EXT INTERFACE 端子に接続した機器の画像が読み取れません。本機にメモリーカードが挿入されている場合は、抜いてください。

1 デジタルカメラや外部機器の設定をマスストレージ接続モードにする。

接続前に必要な設定や操作方法は、デジタルカメラや外部機器によって異なります。デジタルカメラや外部機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
（Cyber-shot をご使用の場合は、USB 接続を「標準」または、「Mass Storage」に設定します。）

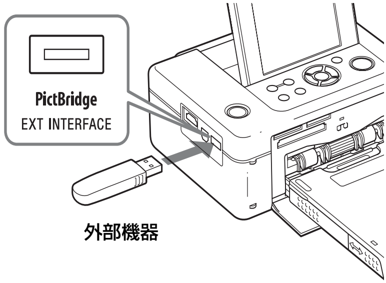
2 本機の電源をつなぐ。（「13 ページの「電源をつなぐ」を参照）

3 本機の ⏻（電源）ボタンを押して電源を入れる。

4 デジタルカメラや外部機器を本機の PictBridge/EXT INTERFACE 端子に接続する。

デジタルカメラや外部機器に付属されている USB ケーブルを使って、本機に接続してください。
ダイレクトモードの印刷が可能です。

PictBridge/EXT INTERFACE 端子へ



外部機器

ご注意

- 市販の USB ケーブルをお使いになる場合は、長さ 3m 未満の A-TYPE の USB ケーブルをお使いください。
- 外部機器のアクセスランプが点滅中に、USB ケーブルを抜いたり、本機および外部機器の電源を切らないでください。外部機器内のデータが破損する場合があります。データの破損、消失については責任は負いかねます。
- USB ハブや USB ハブを内蔵した USB 機器は正常に動作しない場合があります。
- 指紋認証やパスワードなどによって暗号化、圧縮されたデータは、本機ではご使用になれません。

PictBridge カメラからプリントする

本機と PictBridge 対応のデジタルカメラを接続し、デジタルカメラ側で操作しながらプリントできます。
PictBridge からプリントする場合は、あらかじめ本機からメモリーカード、PC、テレビをはずしてください。

1 PictBridge 対応のデジタルカメラを、PictBridge 対応プリンターとの接続モードに設定する。

接続前に必要な設定や操作方法は、デジタルカメラによって異なります。デジタルカメラに付属の取扱説明書をご覧ください。（PictBridge 対応 Cyber-shot をご使用の場合は、USB 接続を「PictBridge」に設定します。）

2 本機の電源をつなぐ。（**「13 ページの「電源をつなぐ」を参照）**

3 本機の ⏻（電源）ボタンを押して電源を入れる。

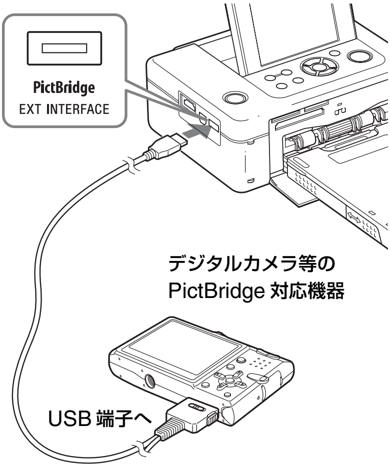
4 PictBridge 対応のデジタルカメラを本機をにつなぐ。

PictBridge対応のデジタルカメラを本機のPictBridge/EXT INTERFACE 端子に接続すると、本機の液晶画面に「PictBridge」と表示されます。

5 デジタルカメラ側から操作してプリントを行う。

本機では、以下のプリントモードに対応しています。

- 一枚画像のプリント
- 全画像プリント
- インデックスプリント
- DPOF プリント
- フチあり／なしプリント
- 日付プリント



ご注意

- PictBridge 対応のデジタルカメラと接続している間にインクリボンを入れ換えた場合は、正常にプリントされないことがあります。その場合はもう一度接続しなおしてください。
- PictBridge/EXT INTERFACE に接続した場合も、本機のプリント設定メニューにしたがってプリントされます。ただし、デジタルカメラでフチあり／なし、日付を設定した場合はデジタルカメラの設定が優先されます。本機の設定が「フチなし」で、デジタルカメラの設定が「フチあり」の場合は、「フチあり 1」で印刷されます。
- USBハブやUSBハブを内蔵したデジタルカメラは正常に動作しない場合があります。
- 本機の日付プリント設定が「日付／時間」でも、ご使用のデジタルカメラによっては時間が印刷されない場合があります。
- デジタルカメラのエラーメッセージについてはお使いのデジタルカメラに付属の取扱説明書をご覧ください。

Bluetooth 対応機器からプリントする

本機の PictBridge/EXT INTERFACE 端子に Bluetooth USB アダプター DPPA-BT1 を取り付けると、Bluetooth 対応の携帯電話やデジタルカメラなどからワイヤレスでプリントすることができます。

Bluetooth 通信を行なうための条件(対応プロファイル)

DPP-FP95 は、以下のプロファイルに対応しています。

- BIP(Basic Imaging Profile)
- OPP(Object Push Profile)

ご使用の Bluetooth 機器の対応プロファイルについては、ご使用の機器の取り扱い説明書をご覧ください。

プロファイルとは？

Bluetooth 通信を行うための規格です。使用目的やお使いになる製品の特性によって、いくつかのプロファイルがあります。Bluetooth 通信を行うためには、通信する機器が共通のプロファイルに対応している必要があります。

プリント可能なファイルフォーマット

JPEG:　DCF 2.0 準拠、Exif 2.21 準拠、JFIF（4:4:4、4:2:2、4:2:0 形式のベースライン JPEG）

TIFF:　Exif 2.21 準拠

BMP:　1、4、8、16、24、32 ビット Windows 形式

画像の形式によっては、対応できないことがあります。

扱える最大画素数

8,000 x 6,000 ドット（最大 5MB 以下）

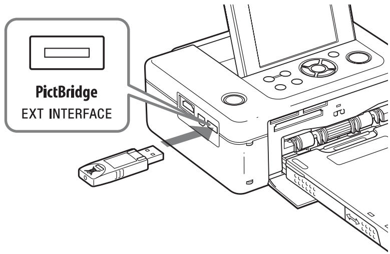
準備 : DPPA-BT1 を接続する

画像を転送したり印刷を行う前に、以下の準備が必要です。

1 **本機の電源をつなぐ。(「13 ページの「電源をつなぐ」を参照)**

2 **本機の ⏻（電源）ボタンを押して電源を入れる。**

3 **Bluetooth アダプターを本機の PictBridge/EXT INTERFACE 端子に差し込む。**



Bluetooth 画面（印刷モード）が表示されます。



次のページにつづく

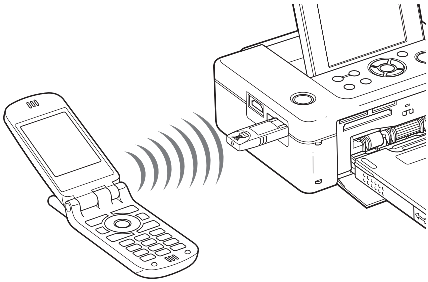
ご注意

本機のカードスロットやPictBridge/EXT INTERFACE 端子、USB 端子に、メモリーカード、カメラなどの外部機器やUSB ケーブルなど、Bluetooth アダプター以外の機器が接続されている場合、取り外してから Bluetooth アダプターを差し込んでください。

プリントする

携帯電話などの Bluetooth 対応機器からプリントする。

プリント方法は、ご使用の Bluetooth 対応機器の取扱説明書をご覧ください。



Bluetooth 対応機器からプリンターを選択する場合は、「Sony DPP-FP95 ##」を選択してください。「##」には、液晶画面に表示されたアドレスの一番右の英数字が表示されます。



パスキー* の入力を求められたら

「0000」を入力してください。プリンターでパスキーを変更することはできません。

* パスキーは、パスコードや PIN コードと呼ばれることもあります。

メモリーカードに画像を転送する

1 メモリーカードをカードスロットに挿入する。

保存したいカードをひとつだけ挿入してください。

Bluetooth 画面（保存モード）が表示されます。



2 携帯電話などのBluetooth対応機器から画像を転送する。

プリントする場合と同じ手順を行います。詳しい転送方法は、ご使用の Bluetooth 対応機器の取扱説明書をご覧ください。メモリーカードに転送された画像が保存されます。

ご注意

- お買い上げの国や地域以外では、DPPA-BT1を使用しないでください。国や地域によっては電波制限があるため、本製品を使用した場合罰せられることがあります。
- 障害物（人体、金属、壁など）や電波状態によって、通信有効範囲は変動します。
- Bluetooth 通信は以下の状況において、通信感度に影響を及ぼすことがあります。
  – 本機と携帯電話などの Bluetooth 機器との間に、人体や金属、壁などの障害物がある場合
  – 無線LANが構築されている場所や、電子レンジを使用中の周辺、その他電磁波が発生している場所など
- Bluetooth 機器と無線 LAN（IEEE802.11 b/g）は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、無線 LAN を搭載した機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。
  – 本機と携帯電話を接続するときは、無線 LAN から 10m 以上離れたところで行う。
  – 10m以内で使用する場合は、無線LANの電源を切る。
- 本機とすべての Bluetooth 機器との無線通信についての保障はいたしかねます。
- Bluetooth を使用した通信時に情報の漏洩が発生しましても、弊社としては一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本機の使用目的に反した改造やご使用によって生じた損害や故障につきましては補償いたしかねます。

警告

- Bluetooth 機器が発生する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所では本機および携帯電話の電源を切ってください。
  – 病院内／電車内／航空機内／ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所
  – 自動ドアや火災報知機などの自動制御装置の近く
  – 医療機器の近くで使わない。
- 電波が、心臓ペースメーカーに影響を与えるおそれがあります。心臓ペースメーカーの装着部位から 22cm 以上離して使用してください。
- 分解や改造をしない。火災や感電の原因となります。内部点検や修理はソニーの相談窓口にご依頼ください。

パソコンからプリントする

付属のCD-ROMのソフトウエアをパソコン（Windows PC）にインストールして、本機とパソコンを接続すると、パソコン内の画像をプリントできます。ここでは、付属のプリンタードライバーとソフトウェア Picture Motion Browserのインストール方法、パソコンと本機との接続方法、Picture Motion Browserを使ったプリント方法について説明します。パソコンの使いかたについては、パソコンに付属の取扱説明書をご覧ください。
なお、付属のソフトウェアのインストールは、本機を初めてパソコンに接続するときのみ必要です。

付属のCD-ROMについて
付属のCD-ROMには、以下のソフトウェアのインストーラーが入っています。

- DPP-FP95プリンタードライバー
  DPP-FP95について記述したドライバーソフトウェアで、DPP-FP95を使ってパソコンからプリントできるようになります。
- Picture Motion Browser（ピクチャーモーション・ブラウザー）
  写真や動画の取り込みから、管理・加工・出力までを一括して行えるソニーオリジナルソフトウェアです。

ソフトウェアをインストールする

必要なシステム構成

付属のプリンタードライバーとソフトウェア Picture Motion Browserをお使いになるには、以下の推奨動作環境を満たしたパソコンが必要です。

推奨OS (*1)：	Microsoft Windows Vista (*2) / Windows XP SP2 (*2) / Windows 2000 Professional SP4 (工場出荷時にインストールされていること） (*1)Windows 2000 Professional SP2以前、およびWindows Me以前のOSでは動作しません。また、Macintoshでも動作しません。 (*2) Picture Motion Browserは、64bit版は除きます。
CPU:	Pentium III 500MHz以上 (Pentium III 800MHz以上推奨)
RAM:	256MB以上 (512MB以上推奨)
ハードディスクの空き容量：	400MB以上（ご使用状況によっては、それ以上必要な場合があります。）
ディスプレイの設定について：	画面の解像度：1024 × 768ドット以上推奨 画面の色：High Color (16ビット) 以上
接続端子	USB接続端子

ドライブ　CD-ROM ドライブ（インストール時に必要）

ご注意

- 1台のパソコンに複数のUSB接続（他のプリンターを含めて）をした場合、またはハブを使用している場合は、不具合が発生することがあります。その場合は、接続を簡素化してください。
- 同時に使用するUSB機器から本機を操作することはできません。
- データ通信中やプリント中はUSBケーブルを抜き差ししないでください。プリントが正常にできません。
- 本機はパソコンのスタンバイ、スリープ、再起動および休止状態には対応していません。印刷中にパソコンをスタンバイモード、スリープモード、再起動および休止状態に切り換えないでください。印刷に失敗することがあります。
- 印刷が正常にできなくなった場合は、USBケーブルを一度抜いて差し直すか、もしくはパソコンを再起動してから、もう一度印刷を実行してください。
- 印刷中のジョブに一時停止を行い、しばらく経過してから印刷を再開すると、正しく印刷されない場合があります。
- 推奨環境対応のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
- Picture Motion Browser は、DirectX テクノロジーに対応しているため、DirectX のインストールが必要になる場合があります。DirectX は CD-ROM 内にあります。
- Cyber-shot Viewer がインストールされているパソコンに Picture Motion Browser をインストールすると、Cyber-shot Viewer は上書きされて Picture Motion Browser となります。このとき、Cyber-shot Viewer で登録された閲覧フォルダはそのまま Picture Motion Browser にも登録されます。Picture Motion Browser では、Cyber-shot Viewer にくらべ、フォルダビュー時にグループ単位での表示が可能になるなど、より閲覧しやすくなっています。また、赤目補正機能の改善やトーンカーブ機能が付加されるなど画像編集機能が充実しました。外部メモリーカードへの書き出し機能も付加され、お気に入りの画像を外に持ち出すことも容易になっております。

プリンタードライバーをインストールする

次の手順でインストールします。

ご注意

- インストール前に、本機をパソコンに接続しないでください。
- コンピューターの管理者権限でログオンしてください。
- セットアップを始める前に他のプログラムはすべて終了させてください。
- ここでは、Windows Vista での画面を使って説明します。OS の種類によって、画面表示や操作方法が異なることがあります。

1 **パソコンの電源を入れ、Windows を起動し、付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れる。**

インストール画面が表示されます。



ご注意

- インストール画面が表示されないときは、CD-ROM 内の Setup(.exe) をダブルクリックします。
- Windows Vista では、自動再生画面が表示される場合がありますが、「Setup.exe の実行」を選択し、画面の指示に従ってください。また、「ユーザーアカウント制御」の画面が表示される場合は、[続行] を選択してください。

2 **［プリンタードライバーのインストール］をクリックする。**

InstallShield Wizard ダイアログボックスが表示されます。

次のページにつづく

3 ［次へ］をクリックする。

「使用許諾契約」画面が表示されます。

4 内容を良くお読みになり、同意する場合は［使用許諾契約の全条項に同意します］にチェックし、［次へ］をクリックする。



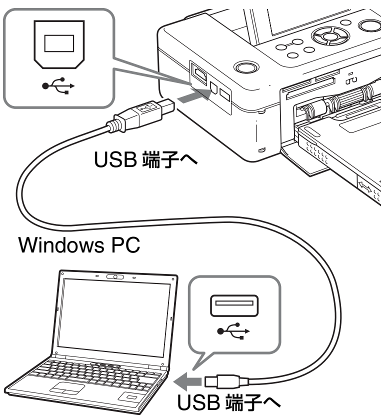
5 「インストール」をクリックする。

インストールが始まります。

6 「Sony DPP-FP95のインストールが完了しました」が表示されたら、［完了］をクリックする。

7 本機の ⏻（電源）ボタンを押して電源を入れる。

8 パソコンと本機を市販のUSBケーブルで接続する。



ご注意

USBケーブルは、長さ3m未満のB-TYPEをお使いください。

9 完了後しばらくしてから、「プリンタ」または「プリンタとFAX」に「Sony DPP-FP95」が追加されていることを確認する。



10 インストール終了後、CD-ROMをパソコンから取り出し保管する。

引き続きPicture Motion Browserをインストールする場合は、53ページ手順2以降にしたがって操作する。

ご注意

- インストールがうまくいかない場合は、本機をパソコンからはずして、パソコンを再起動し、手順1からやり直してください。
- インストール後、「Sony DPP-FP95」は通常使うプリンターには設定されていません。お使いになるアプリケーションソフトでそれぞれ設定を行ってください。
- 付属のCD-ROMは、再インストールやアンインストールで使用することがありますので、終了したら、CD-ROMドライブから取り出し、大切に保管してください。
- 本機をお使いになる前に、Readmeファイル（CD-ROM内のReadmeフォルダ → Japaneseフォルダ → Readme.txt）を良くお読みください。

インストールが終わると
デスクトップ上に以下のアイコンが表示されます。



プリンターカスタマー登録WEB サイトへのショートカット
カスタマー登録していただくと安心・便利な各種サポートが受けられます。
http://www.sony.co.jp/dpp-regi/



Sony マイページへのショートカット
お持ちの登録製品に合わせたサポート情報をご覧いただけます。
http://www.sony.jp/pr/mypage/d-imaging/index.html

プリンタードライバーを削除する

プリンタードライバーが不要になった場合は、次の手順でアンインストールを行い、ハードディスクから関連するファイルを削除します。

1 本機とパソコンから市販の USB ケーブルをはずす。

2 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れる。
インストール画面が表示されます。

ご注意
インストール画面が表示されないときは、CD-ROM 内の Setup(.exe) をダブルクリックします。

3 ［プリンタードライバーのインストール］をクリックする。
InstallShield Wizard ダイアログボックスが表示されます。

4 ［次へ］をクリックする。
「使用許諾契約」画面が表示されます。

5 内容を良くお読みになり、同意する場合は［使用許諾契約の全条項に同意します］にチェックし、［次へ］をクリックする。
削除確認のダイアログボックスが表示されます。

6 ［はい］をクリックする。
再起動確認のダイアログボックスが表示されます。

7 [はい、今すぐコンピュータを再起動します。] をチェックして、[OK] をクリックする。
再起動後、関連のファイルが削除され、アンインストール完了です。

Picture Motion Browser をインストールする

次の手順でインストールします。

ご注意
- コンピューターの管理者権限でログオンしてください。
- セットアップを始める前に他のプログラムはすべて終了させてください。
- ここでは、Windows Vista での画面を使って説明します。OS の種類によって、画面表示や操作方法が異なることがあります。

1 パソコンの電源を入れ、Windows を起動し、付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れる。
インストール画面が表示されます。

2 ［Picture Motion Browser のインストール］をクリックする。
「設定言語の選択」ダイアログボックスが表示されます。

パソコンプリント編

次のページにつづく

3 ［日本語］を選択し、［次へ］をクリックする。

4 ［次へ］をクリックする。

「使用許諾契約」ダイアログボックスが表示されます。

5 内容を良くお読みになり、同意する場合は［使用許諾契約の全条項に同意します。］にチェックし、［次へ］をクリックする。



プログラムのインストール準備完了ダイアログが表示されます。

6 ［インストール］をクリックし、画面の指示に従ってインストールする。

パソコンの再起動を要求する画面が表示された場合は、画面の指示に従って再起動を行なってください。

7 インストール後、付属の CD-ROM をパソコンから取り出し保管する。

ご注意

- インストールがうまくいかない場合は、手順 2 からやり直してください。
- 付属の CD-ROM は、再インストールやアンインストールで使用することがありますので、終了したら、CD-ROM ドライブから取り出し、大切に保管してください。

Picture Motion Browser を削除するには

Picture Motion Browser が不要になった場合は、次の手順でアンインストールを行い、ハードディスクから関連するファイルを削除します。

1 Windows の［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選ぶ。

コントロールパネルが表示されます。

2 ［プログラムの追加と削除］を開く。

3 「Sony Picture Utility」を選択し、［削除］をクリックする。

アンインストールが実行されます。

Picture Motion Browser から写真をプリントする

Picture Motion Browser を使って、
パソコンからプリントできます。

1 Picture Motion Browser を起動する。

以下のいずれかの方法で起動します。

- デスクトップ画面上の （Picture Motion Browser）をダブルクリックする。
- Windows の［スタート］メニューから [すべてのプログラム]（Windows 2000 では［プログラム］）－［Sony Picture Utility］－［Picture Motion Browser］の順にクリックする。

初めて起動したときは閲覧フォルダの登録画面が表示されます。
すでに「ピクチャ」に画像が保存されている場合は、［今すぐ登録］をクリックします。
「ピクチャ」以外のフォルダに画像が保存されている場合は、［後で登録］をクリックします。登録方法については、「閲覧フォルダを登録するには」（59 ページ）をご覧ください。

ちょっと一言

Windows XP/2000 の場合は、「ピクチャ」は「マイピクチャ」に読み換えてください。

「ピクチャ」にアクセスするには

- Windows 2000 の場合：
  デスクトップ画面上の［マイドキュメント］－［My Pictures］の順にクリックします。
- Windows Vista/XP の場合：
  ［スタート］－［ピクチャ］の順にクリックします。

2 ［実行開始］をクリックする。

「Picture Motion Browser」のメイン画面が表示されます。



メイン画面には、以下の 2 通りのビュー（表示方法）があります。表示を切り換えるには、左のフレームの［フォルダ］または［カレンダー］切り換えタブをクリックします。

- **フォルダビュー**
  登録したフォルダごとに画像を分類し、サムネイルを表示します。
- **カレンダービュー**
  カレンダー形式で撮影した日付ごとに画像を分類し、サムネイルを表示します。1 年単位、1ヶ月単位、または 1 時間単位の表示に切り換えることができます。

本書では、「フォルダビュー」を使用したときの印刷方法を説明します。

次のページにつづく

3 **プリントしたい静止画の入っているフォルダをクリックする。**

ここでは「サンプル」フォルダを使って説明します。

4 **プリントしたい静止画を選択し（印刷）をクリックする。**

［印刷］画面が表示されます。

5 **［プリンタ］ドロップダウンリストから [Sony DPP-FP95] を選ぶ。**

印刷の向きやその他の詳細設定を行う場合は手順 6 へ、すぐに印刷を行う場合は手順 11 へ進む。



項目	設定内容
プリンタ	[Sony DPP-FP95] を選択してください。
用紙サイズ	変更するには、［プロパティ］をクリックします。
プロパティ	用紙サイズやプリント方向、画質設定など詳細の設定を行います。

項目	設定内容
印刷オプション	• 画像の一部をカットして印刷領域いっぱいに印刷 *: チェックを付けると、プリンターの印刷領域いっぱいに印刷します。そのため、画像の一部が切れることがあります。チェックをはずすと、画像をカットすることなく印刷します。 * フチなしで印刷する場合には、必ずチェックを付けてください。 • 日付印刷：チェックを付けると、DCF 準拠の画像の場合、撮影日が印刷されます。

6 **印刷の向きやその他の詳細設定を行うには、［プロパティ］をクリックする。**

選択したプリンターのプロパティ画面が表示されます。

なお、本機のプリンタードライバーは、マイクロソフト社の共通プリンタードライバーである Universal Printer Driver を利用しています。ダイアログボックスに表示される設定項目の中には、本機ではお使いにならない項目もあります。

7 **［レイアウト］タブで、用紙サイズなどを設定する。**



項目	設定内容
印刷の向き	画像に合わせて印刷の向きを選びます。 • 縦 • 横
ページの順序	• 印刷をページ順に行うか、または逆に行うかを設定します。通常は、「順」を選択してください。
シートごとのページ	1ページに印刷するページ数を設定します。通常は、「1」を選択してください。
詳細設定	用紙サイズや他の項目を変更します。

8 ［詳細設定］ボタンをクリックする。

「Sony DPP-FP95 詳細オプション」画面が表示されます。



項目	設定内容
用紙／出力	• 用紙サイズ：お使いになるプリントペーパーのサイズを選びます。P サイズ、または L サイズを選びます。 • 部数：印刷部数を設定します。

項目	設定内容
グラフィックス－イメージの色の管理	• ICM の方法:本機は ICM の設定に対応しておりません。「ICM 無効」以外に設定しても印画結果には反映されません。そのままの設定でお使いください。 • ICM の目的:本機では ICM の設定は有効になりません。そのままの設定でお使いください。
ドキュメントのオプション	• 詳細な印刷機能：「有効」に設定すると、「シート毎のページ数」などの詳細な印刷オプションがオンになります。互換性に関する問題が生じた場合は、「無効」に設定してください。 • カラー印刷モード：カラーで印刷する場合は、「True Color (24bpp)」、白黒で印刷する場合は、「モノクロ」を選択してください。

次のページにつづく

項目	設定内容
プリンタの機能	• フチなし印刷：フチなし印刷を行う場合は「ON」、フチあり印刷を行う場合は「OFF」を選択してください。アプリケーションによっては、「ON」に設定してもフチなしにならない場合があります。印刷範囲いっぱいに印刷するように設定して印刷してください。 • オートファインプリント 5 :「写真」、「鮮やか」、「OFF」から選択してください。「写真」、「鮮やか」に設定する場合は、「ICM の方法」は「ICM 無効」に設定してください。メモリーカードからのダイレクト印刷とは処理が異なり、Exif 情報の参照はありません。詳細は、「グラフィックスーイメージの色の管理」をご覧ください。 •: くっきり補正 :「ON」、「OFF」から選択してください。「ON」に設定する場合は、「ICM の方法」は「ICM 無効」に設定してください。メモリーカードからのダイレクト印刷とは、処理が異なり Exif 情報の参照はありません。詳細は、20 ページをご覧ください。 • プリント画質：R、G、B、シャープネスの設定値を変更できます。詳細は、39 ページをご覧ください。

9 **［用紙／品質］タブで、給紙方法や色（カラー／白黒）などを設定する。**



項目	設定内容
トレイの選択	「給紙方法」から、「自動選択」を選んでください。
色	カラーで印刷する場合は「カラー」、白黒で印刷する場合は「白黒」に設定してください。
詳細設定	用紙サイズや他の項目を変更します。詳細は、手順 8 をご覧ください。

10 **[OK] をクリックする。**

「印刷」画面が再び表示されます。

11 **［印刷］をクリックする。**

印刷が開始されます。

Picture Motion Browser の詳細設定については、Picture Motion Browser のヘルプをご覧ください。

ご注意

動画、RAW データの印刷はできません。

ちょっと一言

- メイン画面の画像表示エリアで連続している静止画を選ぶには、最初の静止画をクリックし、Shift キーを押しながら最後の静止画をクリックします。連続していない複数の静止画を選ぶには、Ctrl キーを押しながらクリックします。
- 一枚表示画面から印刷することもできます。

閲覧フォルダを登録するには

Picture Motion Browser では、パソコン内の画像を直接見ることはできません。必ず登録が必要になります。登録は、以下の手順で行います。

1 「ファイル」「閲覧フォルダの登録」または、[ ] をクリックする。

閲覧フォルダの登録画面が表示されます。

2 フォルダツリーから登録したいフォルダを選択して［登録］ボタンをクリックする。



ご注意

ドライブ全体を登録することはできません。

登録の確認画面が表示されます。

3 ［はい］をクリックする。

画像情報のデータベースへの登録が始まります。

4 ［閉じる］をクリックする。

ご注意

- 画像の取り込み先に選んだフォルダは自動的に登録されます。
- ここで登録されたフォルダを解除することはできません。

閲覧フォルダを変更するには

「ツール」－「設定」－「閲覧フォルダ」を選び、変更します。

ちょっと一言

- 取り込み元のフォルダ内にサブフォルダがある場合、サブフォルダ内の画像も登録されます。
- 本ソフトウェアを初めて起動する場合、[ピクチャ] の登録を促すメッセージが表示されます。
- 画像情報の登録は、画像の枚数によっては数十分かかることがあります。

印刷を中止する

1 タスクバー上のプリンタアイコンをダブルクリックして、プリンタダイアログボックスを開く。

2 キャンセルしたいドキュメント名をクリックし、メニューの［ドキュメント］－［キャンセル］を選択する。

削除確認ダイアログボックスが表示されます。

3 [はい] をクリックする。

印刷ジョブが取り消されます。

ご注意

印刷中のジョブは削除しないでください。
紙づまりの原因になることがあります。

次のページにつづく

市販のアプリケーションソフトからプリントする

「印刷」画面の［プリンタ］の項目で［DPP-FP95］を選択し、ページ設定で用紙の選択などの設定を行うことによって、市販のアプリケーションソフトからもプリントできます。
ページ設定画面の詳細については、56 ページの手順 6、7 をご覧ください。

［プリンタの機能］の［フチなし］の設定について

Picture Motion Browser 以外のアプリケーションソフトでは、「Sony DPP-FP95 詳細オプション」の［プリンタの機能］を［フチなし印刷］に設定しても、フチありでプリントされてしまうことがあります。
この項目を有効に設定した場合、アプリケーションソフト側に、フチなしで印刷できる範囲の情報が提供されますが、アプリケーションソフトによっては、その範囲でふちがつくようにレイアウトして印刷するものがあるためです。
この場合は、以下の方法で印刷してください。

- 設定があるアプリケーションソフトでは、画像が印刷範囲をはみ出しても印刷範囲いっぱいに印刷するように設定します。
  たとえば、Windows XP の「画像と FAX ビューア」の印刷ウィザードの設定では、［フルページ写真プリント］を選択します。

印刷前にプレビュー画像を表示して確認してください。

印刷の向きの設定について

お使いのアプリケーションソフトによっては、縦、横の設定を変更しても、同じプリント結果になる場合があります。

フチあり、フチなしの設定について

お使いのアプリケーションソフトにフチあり、フチなしの設定がある場合、プリンタードライバーの詳細オプション－プリンタの機能で「フチなし：ON」に設定することをお勧めします。

印刷枚数の設定について

使用するアプリケーションソフトによってはアプリケーションソフトで設定した値が優先されます。

エラーメッセージが表示されたら

本機の液晶画面に次のようなエラーメッセージが表示されることがあります。
以下に従って対処してください。

プリンター本体

エラーメッセージ	意味／処理
プリンターにエラーが発生しました。電源を入れ直して再度実行してください。	• 本機に何らかのエラーが発生しました。電源をいったん切り、再度入れてから操作してください。(何度もこのエラーが表示される場合はソニーの相談窓口にお問い合わせください。)

メモリーカード関連外部機器

エラーメッセージ	意味／処理
メモリースティック／コンパクトフラッシュ／ SD カード／ xD-Picture カード／外部機器がありません。	• メモリーカードがそれぞれのスロットに入っていません。または外部機器が PictBridge/EXT INTERFACE 端子に接続されていません。メモリーカードをそれぞれのスロットに入れてください。または、外部機器を接続してください。(→16 、45 ページ)
非対応メモリースティック／コンパクトフラッシュ／ SD カード／ xD-Picture カード／外部機器が挿入されています。	• 非対応のメモリースカードが挿入されています。または、PictBridge/EXT INTERFACE 端子に非対応の外部機器が接続されました。本機に対応しているメモリーカードまたは外部機器をお使いください。
画像がありません。	• メモリーカードまたは外部機器内に画像ファイルがありません。本機で表示できる画像ファイルの入ったメモリーカードまたは外部機器をお使いください。
プリント予約された画像がありません。	• DPOF 設定された画像がありません。お使いのデジタルカメラで DPOF 設定を行ってください。
プロテクトファイルは削除できません。	• プロテクトファイルを削除するには、お使いのデジタルカメラでプロテクト設定を解除してください。
プリント予約された画像は削除できません。	• DPOF ファイルを削除するには、お使いのデジタルカメラで DPOF 設定を解除してください。
プロテクトされています。プロテクトを解除して、もう一度実行してください。	• " メモリースティック " が書込み禁止になっています。誤消去防止スイッチを解除してください。
メモリースティック／コンパクトフラッシュ／ SD カード／ xD-Picture カード／外部機器が容量不足です。	• メモリーカードまたは外部機器の容量が一杯のため、追加保存できません。画像を削除するか、容量のあるメモリーカードまたは外部機器をお使いください。

次のページにつづく

<table>
<tr><th>エラーメッセージ</th><th>意味／処理</th></tr>
<tr><td>メモリースティック／コンパクトフラッシュ／ SD カード／ xD-Picture カード／外部機器にエラーがあります。</td><td rowspan="3">• 何らかのエラーが発生しています。何度もこのエラーが表示される場合は、本機以外の機器でもメモリーカードまたは外部機器の状態をご確認ください。
外部機器の場合
外部機器が書込み禁止になっている可能性があります。お使いの機器の書込み禁止設定を解除してください。デジタルカメラの内蔵メモリーは、書込み禁止の場合があります。</td></tr>
<tr><td>メモリースティック／コンパクトフラッシュ／ SD カード／ xD-Picture カード／外部機器への書き込みエラーです。</td></tr>
<tr><td>メモリースティックの初期化エラーです。</td></tr>
<tr><td>メモリースティックは保護されています。</td><td>• 保護されている " メモリースティック " が挿入されています。画像の編集、保存を行う場合は、お手持ちの機器で保護を解除してください。</td></tr>
</table>

外部機器／ PictBridge 関連

エラーメッセージ	意味／処理
非対応の USB 機器が接続されました。接続した機器の USB 設定を確認してください。	• 本機でサポートしていない USB 機器が接続されたか、接続した機器の USB 設定が正しくありません。お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。
USB ハブをこれ以上接続しないでください。	• 本機に直接つなぐか、USB ハブを内蔵していない機器をお使いください。
外部機器への書き込みエラーです。	• 外部機器が書込み禁止になっている可能性があります。 お使いの機器の書込み禁止設定を解除してください。デジタルカメラの内蔵メモリーは、書込み禁止の場合があります。

インクリボン

<table>
<tr><th>エラーメッセージ</th><th>意味／処理</th></tr>
<tr><td>インクリボンがありません。
インクリボンをセットして、
[印刷] を押してください。</td><td rowspan="2">• インクリボンを入れてください。「○○サイズ」と表示されている場合は、表示サイズのインクリボンを入れてください。
(→9 ページ)
「クリーニング」と表示されている場合は、クリーニング用のクリーニングカートリッジを入れてください。(→75 ページ)</td></tr>
<tr><td>インクリボンがありません。
「○○サイズ」のインクリボンをセットして、[印刷] を押してください。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>エラーメッセージ</th><th>意味／処理</th></tr>
<tr><td>インクリボンが終了しました。</td><td rowspan="2">• 新しいインクリボンを入れてください。「○○サイズ」と表示されている場合は、表示サイズのインクリボンを入れてください。（→9 ページ）</td></tr>
<tr><td>インクリボンが終了しました。
「○○サイズ」のインクリボンをセットして [印刷] を押してください。</td></tr>
<tr><td>インクリボンが正しくありません。
「○○サイズ」のインクリボンをセットして、[印刷] を押してください。</td><td>• 表示されているサイズのインクリボンとプリントペーパーを入れてください。（→9 ページ）</td></tr>
</table>

プリントペーパー

<table>
<tr><th>エラーメッセージ</th><th>意味／処理</th></tr>
<tr><td>ペーパートレイがありません。
「○○サイズ」のプリントペーパーをセットしたペーパートレイを挿入し、［印刷］を押してください。</td><td rowspan="2">• 次のいずれかが考えられます。
– ペーパートレイが入っていません。
– プリントペーパーがペーパートレイにありません。
– プリントペーパーが終了しました。
• プリントペーパーをペーパートレイに入れてください。「○○サイズ」と表示されている場合は、表示サイズのプリントペーパーをペーパートレイに入れてください。（→10 ページ）</td></tr>
<tr><td>プリントペーパーがありません。
「○○サイズ」のプリントペーパーをセットして、［印刷］を押してください。</td></tr>
<tr><td>クリーニングシートがありません。
クリーニングシートをセットして、［印刷］を押してください。</td><td>• クリーニングシートがペーパートレイに入っていません。クリーニングシートをペーパートレイに入れてください。（→75 ページ）</td></tr>
<tr><td>プリントペーパーが違います。
「○○サイズ」プリントペーパーをセットして、［印刷］を押してください。</td><td>• 本機に入っているインクリボンのサイズと、プリントペーパーのサイズが合っていません。本機に入っているインクリボンのサイズを確認のうえ、同じサイズのプリントペーパーを入れてください。。（→9 、 10 ページ）</td></tr>
<tr><td>紙づまりです。
プリントペーパーを取り除いてください。</td><td>• プリントペーパーがつまっています。「プリントペーパーがつまったら」の手順に従ってプリントペーパーを取り除いてください。（→74 ページ)</td></tr>
</table>

故障かな？と思ったら

修理にお出しになる前に、もう 1 度点検してください。それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にお問い合わせください。

電源

症状	チェック項目	対処方法
電源が入らない。	• 電源プラグが正しく差し込んでありますか？	➔ 正しく接続してください。

画像を表示する

「プリンターの電源は入っているが印刷が始まらない。」または、「操作画面の設定ができない。」こんな時は以下のチェック項目を確認してください。

症状	チェック項目	対処方法
画面に画像が表示されない。	• メモリーカードや外部機器は正しく挿入されていますか？	• 正しく挿入してください。（➡16 、45 、46 ページ）
	• メモリーカードにはデジタルカメラなどで保存した画像が入っていますか？ また、外部機器には画像が保存されていますか？	➔ 画像の入っているメモリーカードまたは外部機器を接続してください。 ➔ プリント可能なファイルフォーマットを確認してください。（➡80 ページ）
	• ファイルフォーマットはDCFに準拠していますか？	➔ DCF に準拠していないファイルはパソコンで表示できても、本機では表示、プリントできない場合があります。
一部の画像が表示されない。表示されているのにプリントできない。	• インデックス表示で画像が表示されていますか？	➔ 画像が表示されているのにプリントできない場合は、プリントするための画像ファイルが壊れています。 ➔ DCF に準拠していないファイルはパソコンで表示できても、本機ではプリントできない場合があります。
テレビ画面、液晶画面のどちらにも表示されない	• テレビの入力切換がプリンターになっていますか？	➔ テレビの入力切換がプリンターになっていなくても、HDMI ケーブルが接続されている場合、テレビ画面にも液晶画面にも表示されない場合があります。 ➔ テレビの入力をプリンターに切り換えるか、HDMI ケーブルを抜いて液晶画面表示に切り換えてください。

症状	チェック項目	対処方法
一部の画像が表示されない。表示されているのにプリントできない。	• インデックス表示画面で、下のマークが表示されていますか？  • パソコンのアプリケーションで作成した画像ではありませんか？	➔ 左のマークが表示されている場合は、パソコンで作成した JPEG ファイルなど、本機が対応していない画像ファイルか、対応している画像ファイルでも、サムネイルと呼ばれている表示用の画像データ部分がない画像ファイルです。このマークを選択し、決定ボタンを押して一画像表示にし、画像が表示されれば、プリントは可能です。一画像表示にしても、左のマークが表示される場合は本機で対応できない画像ファイルのため、プリントはできません。
	• インデックス表示画面で、下のマークが表示されていますか？ 	➔ 左のマークが表示されている場合は、本機が対応している画像ファイルですが、サムネイルと呼ばれている表示用の画像データが開けないか、または本画像が開けません。このマークを選択し、決定ボタンを押して一画像表示にし、画像が表示されれば、プリントは可能です。一画像表示にしても、左のマークが表示される場合はプリントはできません。
	• メモリーカードまたは外部機器内の画像枚数が 9,999 枚を超えていませんか？	➔ 本機で再生、プリント、記録、削除など、扱える画像ファイル数は最大で 9,999 枚です。メモリーカードまたは外部機器内に 9,999 枚を超える画像ファイルが保存されている場合は、PC モードまたは PictBridge モードをお使いください。
	• パソコンなどでファイル名を変更しましたか？	➔ パソコンでファイル名をつけたり変更した場合、ファイル名に半角英数字以外の文字が含まれていると、本機で画像が表示できない場合があります。
	• インデックス表示画面で、プリント枚数は設定されていますか？	➔ 画像を選択した場合、カーソルがあっても、プリント枚数が設定されていないとプリントされません。決定ボタンを押して、プリント枚数を設定してください。(➡17 ページ)
	• メモリーカードまたは外部機器内の 9 階層以上のフォルダがありませんか？	➔ 9 階層以上のフォルダ内にある画像データは、本機では表示できません。
ファイル名が正しく表示されない。	• パソコンなどでファイル名を変更しましたか？	➔ パソコンでファイル名をつけたり変更した場合、ファイル名に半角英数字以外の文字が含まれていると、本機でファイル名が正しく表示されない場合があります。また、パソコンなどで作成したファイルは、ファイル名の最初の 8 文字が表示されます。

次のページにつづく

症状	チェック項目	対処方法
画像編集でプレビュー画面に上下の余白ができる。	• 極端に縦長または横長の画像ではありませんか？	→ 極端に縦長または横長の画像は、画像編集の際、比率の関係で上下に余白が生じることがあります。 → デジタルカメラで撮影した画像の縦横比は一般的に 3:4 ですが、画像を編集、保存できる本機以外の機器で編集、保存された画像は、3:4 よりも横長のプリントイメージとして保存されることがあるため、一覧表示ではカットされた上下部分が黒く表示されます。

プリントする

プリントペーパーをペーパートレイに入れて印刷を実行すると、給紙されない、複数枚重なって給紙される、斜めに給紙される、こんな時は以下のチェック項目を確認してください。

症状	チェック項目	対処方法
給紙されない。	• プリントペーパーはペーパートレイに正しく入っていますか？	→ プリントペーパーが正しく入っていないと、故障の原因になります。以下の項目についてチェックしてください。（→9 、10 ページ） • 正しい組合せのプリントペーパーとインクリボンを入れてください。 • プリントペーパーは正しい向きで白無地を上にして入れてください。 • トレイにはプリントペーパーは一度に 20 枚までしか入りません。20 枚以上の場合は取り除き 20 枚までにしてください。 • L サイズのプリントペーパーをお使いの場合、L サイズのアダプターを正しくセットしてください。 • プリントペーパーを良くさばいて、トレイに入れてください。
	• 本機で使用できないプリントペーパーをお使いではありませんか？	→ 指定されたプリントペーパーをお使いください。指定外のプリントペーパーを使用すると、故障の原因になります。（→ **別冊「プリントパックについて」**）
プリントペーパが白紙で出てくる。	• ミシン目が切り離されていませんか？ • 本機で使用できないプリントペーパーをお使いではありませんか？	→ 指定されたプリントペーパーをお使いください。指定外のプリントペーパーをお使いになると、故障の原因になります。（→ **別冊「プリントパックについて」**）

プリント結果

症状	チェック項目	対処方法
プリント画質が悪い。	• プレビュー画像データをプリントしていませんか？	➔ ご使用のデジタルカメラの種類によっては、画像の一覧表示で本画像データの他にプレビュー画像データなどが表示される場合があります。このプレビュー画像データなどをプリントした場合、プリント画質は本画像データをプリントしたときに比べ低下します。また、画像を削除する場合は、プレビュー画像データを削除すると本画像データが開けなくなる場合がありますので、データ内容について確認してください。
	• 画像サイズの縦または横が 480 ドット以下の画像をプリントしていませんか？	➔ インデックス表示画面で左のように表示されている画像は、画像サイズが小さいため、プリントは粗くなります。
	• 画像編集で画像を拡大していませんか？	➔ 拡大した場合は、画像サイズによっては画質が低下することがあります。
	• RAW モードで撮影しませんでしたか？	➔ RAW モードで撮影した場合は、同時に圧縮率の高い JPEG ファイルが記録されている可能性があります。本機は、RAW ファイルに対応していないため、JPEG ファイルの方を印刷します。RAW ファイルは、一般的には、パソコンを使用すれば印刷可能です。RAW ファイルをパソコンを使用して印刷する方法は、ご使用のデジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。 **RAW ファイルとは？** 撮影したデータを圧縮せずに独自のフォーマットで保存したものです。RAW ファイルで保存可能かどうかは、お使いのデジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。
画面に表示される画像と実際にプリントされる画像の画質または色が異なっている。	ー	➔ 発色方法の違いや液晶画面個々の特性の違いによるもので、画面に表示される画像はあくまで目安とお考えください。なお、画質の調整は次の設定で行うことができます。 • メニューボタンー［プリント設定］ー［プリント画質］（➞39 ページ） • メニューボタンー［画像編集］ー［画質調整］

困ったときは

次のページにつづく

症状	チェック項目	対処方法
メモリーカードや外部機器からダイレクトにプリントした場合と、パソコン経由でプリントした場合とでは、プリントイメージが異なる。	ー	→ 本機内部での処理とパソコンのソフトウェアでの処理の違いもあり、まったく同じにはなりません。
日付けがプリントされない。	• ［日付プリント］設定が「日付」/「日付／時間」になっていますか？	• 「切」の場合、［メニュー］ー［プリント設定］ー［日付プリント］の設定を「日付」／「日付／時間」に切り換えてください。(→38 ページ)
	• DCFに準拠した画像ファイルですか？	→ 本機の［日付プリント］は、DCF に準拠した画像ファイルのみをサポートしています。
日付けがプリントされてしまう。	• ［日付プリント］設定が「切」になっていますか？	→ 「日付」／「日付／時間」の場合、［メニュー］ー［プリント設定］ー［日付プリント］の設定を「切」に切り換えてください。(→38 ページ)
	• デジタルカメラでの撮影時に、日付けも一緒に画像に入っていませんか？	→ 画像に日付が入っている場合は、日付なしのプリントはできません。
印画範囲いっぱいに印画されない。余白が残る。	• ［プリント仕上げ］設定が［フチあり 1］または［フチあり 2］になっていませんか？	→ メニューボタンー［プリント設定］ー［プリント仕上げ］の設定を「フチなし」に切り換えてください。(→38 ページ)
	• 画像の縦横比は、合っていますか？	→ ご使用のデジタルカメラの種類によっては、記録される画像の縦横比が異なるため、本機の印画範囲いっぱいにプリントされない場合があります。
［フチなし］プリントに設定しているのにプリントしたら左右に余白が残った。	ー	→ 画像を編集、保存できる本機以外の機器で編集、保存された画像には、画像の周囲の余白部分も画像データとして保存されることがあります。このような画像の場合［フチなし］プリントに設定しても左右に余白が残ります。(→38 ページ)
画像全体をプリントできない。	• ［プリント仕上げ］設定が［フチあり 1］になっていますか？	→ ［フチあり 1］に設定すると画像全体がプリントされます。(→38 ページ)
斜めにプリントされてしまう。	• ペーパートレイが斜めに装着されていませんか？	→ ペーパートレイを再度固定するまでしっかりとまっすぐに差し込んでください。

症状	チェック項目	対処方法
白いスジやキズが入る。	ー	→ 付属のクリーニングカートリッジでプリントヘッドなど本機内部のクリーニングをしてみてください。（→75 ページ）
画像が暗い、明るい、赤すぎる、黄色すぎる、緑色すぎる。	ー	→ メニューボタンー［画像編集］－［画質調整］で修正してください。（→21 ページ）
くっきり補正ボタンで赤目の補正ができない。	ー	→ メニューボタンー［画像編集］－［赤目の補正］で修正してください。（→24 ページ）
手動（[メニュー] －［画像編集］－ [赤目の補正]）で赤目の補正ができない	ー	→ 補正枠を瞳の大きさの 2~7 倍に設定し再度補正してください。（→24 ページ）
	• ［赤目の補正］の後に、拡大 • 縮小、回転 • 移動の編集操作を行いませんでしたか？	→ ［赤目の補正］の後に、拡大 • 縮小、回転 • 移動を行うと正しく補正されないことがあります。拡大 • 縮小、回転 • 移動の後に［赤目の補正］を行うようにしてください。

設定する

症状	チェック項目	対処方法
フチあり／なし設定ができない。	• クリエイティブプリント機能をお使いですか？	→ テンプレートを使用しているため、フチあり／なしの選択はできません。

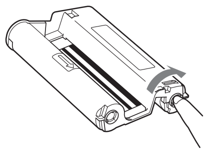
画像を保存、削除する

症状	チェック項目	対処方法
保存できない。	• メモリーカードが書き込み禁止になっていませんか？	→ 書き込み禁止設定を解除して、再度保存してください。
	• " メモリースティック " の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっていませんか？	→ 誤消去防止スイッチを解除してください。
	• メモリーカードが一杯になっていませんか？	→ 不要な画像を削除してください。（→35 ページ）または、充分なメモリー残量のあるメモリーカードに交換してください。
削除できない。	• メモリーカードが書き込み禁止になっていませんか？	→ お手持ちの機器で書き込み禁止設定を解除して、再度保存してください。
	• 画像がプリント予約（DPOF 設定）されていませんか？	→ デジタルカメラなどで DPOF 設定を解除してください。

次のページにつづく

症状	チェック項目	対処方法
削除できない。	• " メモリースティック " の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっていませんか？	→ 誤消去防止スイッチを解除してください。
	• " メモリースティック -ROM" ですか？	→ " メモリースティック -ROM" については、画像の削除と初期化はできません。
誤って消してしまった。	―	→ 一度削除したファイルは元に戻せません。
" メモリースティック " を初期化できない。	• " メモリースティック " の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっていませんか？	→ 誤消去防止スイッチを解除してください。
	• " メモリースティック -ROM" ですか？	→ " メモリースティック -ROM" については、画像の削除と初期化はできません。
" メモリースティック " を誤って初期化してしまった。	―	→ 初期化すると"メモリースティック"内の画像はすべて削除され、元に戻せません。

その他

症状	チェック項目	対処方法
インクリボンが上手く入らない。	―	→ いったんインクリボンを取り出してから、入れなおしてください。リボンがたるんでうまく入らない場合は、インクリボンの芯を矢印の方向に回してリボンのたるみを取ってください。（→9 、10 ページ）
インクリボンが取り出せない。	―	→ 本機の電源を入れ直してください。回転が止まったらインクリボンを取り出してください。それでも取り出せないときは、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にお問い合わせください。

デジタルカメラなどの外部機器との接続

症状	チェック項目	対処方法
カメラの液晶モニターに「PictBridge」マークが表示されない。	• ケーブルが正しく接続されていますか？	➔ ケーブルを正しく接続してください。
	• 本機の電源は入っていますか？	➔ 本機の電源を入れてください。
	• お使いのカメラが PictBridge に対応していますか？	➔ お使いのデジタルカメラに付属の取扱説明書をご覧いただくか、デジタルカメラメーカーにお問い合わせください。
	• 本機の液晶画面に「接続中」と表示されていませんか？	➔ メニュー設定中、画像編集メニュー、クリエイティブプリントメニューを操作中には表示されません。一度メニューから抜けて再度ケーブルを挿入してください。 ➔ デジタルカメラと接続しなおすか、カメラと本機の電源を入れなおしてください。
	• お使いのデジタルカメラのUSB設定は PictBridge モードになっていますか？	➔ お使いのデジタルカメラの USB 設定を PictBridge モードに設定してください。
USB ケーブルを抜き差ししても何も起こらない。	―	➔ オーバーカレント（過電流）エラーが発生した可能性があります。 復帰するには、本機の電源をもう一度入れなおしてください。
取消ボタンを押してもプリントが中止されない。	―	➔ 現在プリント中の次からのプリントが取り消されます。 ➔ デジタルカメラによっては、本機の取消操作ではプリントを中止できない場合があります。その場合はデジタルカメラから操作してプリントを中止してください。デジタルカメラに付属の取扱説明書も併わせてご覧ください。
インデックスプリントができない。	•「プリントデータを作成できない画像がありました。」と表示されていませんか？	➔ 本機では、DPOF プリントのインデックスプリントはプリントできません。メモリーカードを直接本機に入れるか、マスストレージ接続（45 ページ）でインデックスプリントしてください。

次のページにつづく

パソコンとの接続

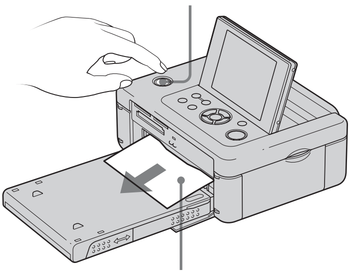
症状	チェック項目	対処方法
本機に接続したメモリーカードまたは外部機器の画像がパソコンで見られない。	ー	→ 本機には、パソコンから本機のメモリーカードまたは外部機器の画像を読みとる機能はありません。
ドライバ CD-ROM を紛失したので入手したい。	ー	→ ソニーデジタルフォトプリンターホームページ（http://www.sony.co.jp/DPP/）からダウンロードしていただくか、またはお買い上げの販売店にご相談ください。
ドライバーがインストールできない。	• 手順通りインストールされていますか？	→ 取扱説明書の手順に従って、正しくインストールしてください。エラーが発生してインストールが強制終了した場合は、パソコンを再起動して再インストールしてください。
	• 他のアプリケーションを起動していませんか？	→ 他のアプリケーションソフトをすべて終了し、もう一度インストールしてください。
	• インストール用 CD-ROM ドライブが正しく指定されていますか？	→ マイコンピュータをダブルクリックして、開いたウィンドウにある CD-ROM アイコンをダブルクリックします。以降の操作は、本書 51 ページをご覧ください。
	ー	→ USB ドライバーが正しくインストールされていないことがあります。もう一度、取扱説明書に従ってインストールしてください。
	• ウイルス検知プログラムやシステムに常駐するプログラムがありませんか？	→ ウイルス検知プログラムやシステムに常駐するプログラムがある場合、あらかじめ終了してください。終了した後、再度プリンタードライバーのインストールを行ってください。
	• 管理者権限のあるユーザーでログインされていますか？	→ 管理者権限のあるユーザーでログインしてからインストール作業を行ってください。

症状	チェック項目	対処方法
パソコンから印刷実行指示をしても本機が反応しない。	ー	➔ パソコン画面上にエラーがない状態で本機が反応しない場合は、本機の液晶画面を確認してください。 エラー表示が出ている場合、以下の操作を行ってください。 1.本機の電源を切る。 2.AC アダプターをコンセントから抜く 3.そのまま 5 秒〜 10 秒程度放置し、再度 AC アダプターをコンセントにつなぐ。 4.パソコンを再起動する。 上記の操作を行っても問題が解決しない場合は、お買い上げ店またはソニーの相談窓口までご相談ください。
フチなしに設定しても、ふち付きでプリントされてしまう。	• Picture Motion Browser 以外のアプリケーションをお使いですか？	➔ Picture Motion Browser 以外のアプリケーションでは、「フチなしプリント」に設定しても、フチありにレイアウトして印刷するものがあります。以下の設定をしてください。 – ふち有／無の設定項目があるアプリケーションでは、画像が印刷範囲をはみ出しても印刷範囲いっぱいに印刷するように設定する。
ドライバーの［レイアウト］タブの［シートごとのページ］で設定した枚数と印画結果が違う。	ー	➔ 使用するアプリケーションによっては、アプリケーションで設定した値が優先されます。
メモリーカードから印刷したときと色が異なる	ー	➔ メモリーカードからの印刷とパソコンからの印刷では、印刷までの処理が異なるので、全く同じにはなりません。
「ドキュメントを USB に出力するときエラーが見つかりました。」のメッセージが表示される。	ー	➔ 一度 USB ケーブルをはずしてから、再度接続し直してください。

プリントペーパーがつまったら

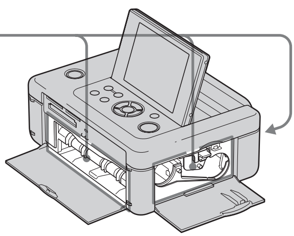
1 **インクリボン、ペーパートレイを取りはずさずに、⏻（電源）ボタンを押しいったん切ってから、再度電源を入れる。**

自動的にプリントペーパーが排出されますので、お待ちください。



2 **排出されたプリントペーパーを取り除く。**

3 **ペーパートレイとインクリボンを取り出して、内部にプリントペーパーがつまっていないことを確認する。**



ちょっと一言

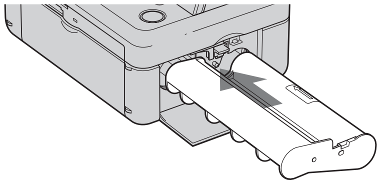
プリントペーパーを取り出せない場合は、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にお問い合わせください。

クリーニングをする

プリント上に白いスジや周期的に点状のキズが入るようになった場合は、同梱されているクリーニングカートリッジとクリーニングシートを使い、内部のクリーニングを行ってください。クリーニングを行う場合は、あらかじめメモリーカードや外部機器、USB ケーブルなどをはずしてください。

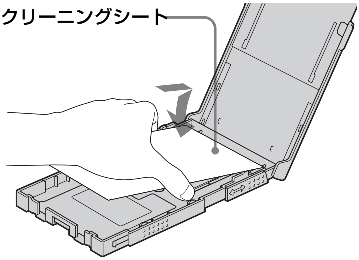
1 **インクリボンドアを開け、印刷用のインクリボンが入っている場合には、インクリボンを取り出す。**

2 **付属のクリーニングカートリッジを入れ、インクリボンドアを閉める。**



3 **ペーパートレイを抜き、印刷用のプリントペーパーが入っている場合はすべて取り出す。**

4 **クリーニングシートを印刷のない面を上にして、ペーパートレイにセットする。**



5 **ペーパートレイを本機にセットし、印刷ボタンを押す。**

クリーニングカートリッジとクリーニングシートが本機内部をクリーニングします。クリーニング中は印刷ランプが点滅します。クリーニングが終わるとクリーニングシートがペーパートレイに排紙されます。

6 **クリーニングカートリッジとクリーニングシートを取りはずす。**

ちょっと一言

クリーニングカートリッジとクリーニングシートはなくさずに保存してください。

ご注意

- 正常なプリント結果が得られる状態で、クリーニングを行っても、プリント画質が向上することはありません。
- 印刷用のプリントペーパーの上にクリーニングシートを重ねて使用しないでください。紙づまりなどの原因になります。
- 一度では、クリーニング効果が得られない場合があります。その場合は、2、3 度クリーニングすることをおすすめします。
- パソコン接続中や、PictBridge 接続中はクリーニングできません。

使用上のご注意

設置上のご注意

- 水平な場所に置いてください。
- ぶつけたり、落としたりしないでください。
- 次のような場所には置かないでください。
  - 不安定なところ
  - ほこりの多いところ
  - 極端に寒いところや暑いところ
  - 振動の多いところ
  - 湿気の多いところ
  - 直射日光の当たるところ
- 本体の通風口をふさがないようにしてください。故障の原因となります。

AC アダプターについてのご注意

電源コンセントの形状は各国、各地によって異なりますのでお出かけ前にご確認ください。本機を海外旅行者用の電子式変圧器（トラベルコンバーター）に接続しないでください。発熱や故障の原因になります。

結露について

本機を温度の低い場所から暖かい場所に移動したりすると、本機の内部に水滴のつくことがあります。これを結露といいます。この状態で本機を使用すると、正常に動かず、故障の原因となります。結露の可能性のあるときは、電源を切り、しばらくそのまま放置しておいてください。

引っ越しなどで輸送する場合は

輸送する場合は、インクリボン、ペーパートレイ、メモリーカード、外部機器、AC アダプターを本体から取りはずし、本機が梱包されていた梱包材および梱包箱に入れてください。これらがない場合は、輸送中の衝撃に耐えるように梱包してください。

お手入れ

本体の汚れがひどいときは、水または水で薄めた中性洗剤溶液で湿らせた布をかたくしぼってから、汚れをふきとってください。シンナーやベンジン、アルコールなどは、表面の仕上げをいためることがありますので、使用しないでください。

複製の禁止事項

本製品を使用して模造または複製する場合には、次の点に充分注意してください。

- 紙幣、貨幣、有価証券などの複製は禁止されており、処罰の対象となります。
- 各種の証明書、免許証、旅券、民間発行の有価証券、未使用の郵便切手などの複製は禁止されており、処罰の対象となります。
- 他人の著作権の目的となっている絵画、写真、書籍などは個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

メモリーカードについて

" メモリースティック "

本機でお使いになれる " メモリースティック "

本機では以下の " メモリースティック " をご使用になれます。[*1]

" メモリースティック " の種類	表示・印刷	削除・保存・初期化
" メモリースティック "[*2]（マジックゲート非対応）	○	○
" メモリースティック "[*2]（マジックゲート対応）	○[*5]	○[*5]
" マジックゲートメモリースティック " [*2]	○[*5]	○[*5]
" メモリースティック PRO" [*2]	○[*5]	○[*5]
" メモリースティック PRO-HG" [*2]	○[*5*6]	○[*5*6]
" メモリースティック マイクロ "[*3]（"M2"[*4]）	○[*5]	○[*5]

[*1] 本機は FAT32 に対応しています。8GB までのソニー製 " メモリースティック " で動作確認を行っています。ただし、すべての " メモリースティック " メディアの動作を保証するものではありません。

[*2] 本機には、スタンダード／デュオ サイズ対応スロットが搭載されています。メモリースティック デュオアダプターなしで、標準サイズの " メモリースティック "、小型の " メモリースティック デュオ " のどちらでもご使用いただけます。

[*3] " メモリースティック マイクロ " を本機でお使いの場合は、必ず " メモリースティック マイクロ " を M2 アダプターに入れてからお使いください。

[*4] "M2" は、" メモリースティック マイクロ " の略称です。本文では今後略称 "M2" を用いて記述します。

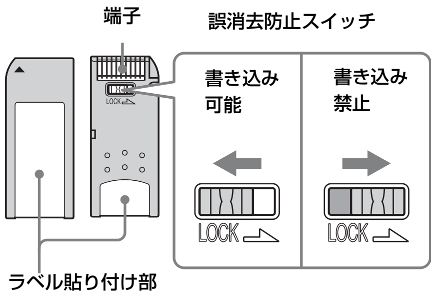
[*5] 著作権保護技術（" マジックゲート "）が必要なデータの読み込み、記録はできません。" マジックゲート " とは、ソニーが開発した、暗号化技術を使って著作権を保護する技術の総称です。

[*6] 本機は、8 ビットパラレルデータ転送には対応しておりません。

使用上のご注意

- 使用可能な " メモリースティック " についての最新情報は、ホームページ上の「" メモリースティック " 対応表」をご確認ください。（裏表紙）
- 複数の " メモリースティック " を同時に挿入しないでください。機器の破損の原因となる場合があります。
- メモリースティックマイクロを M2 アダプターに装着せずに挿入されますと、取り出せなくなる可能性があります。
- デュオサイズの M2 アダプターに " メモリースティック マイクロ " を入れ、それをさらにメモリースティック デュオアダプターに入れて使用した場合、動作しない場合があります。
- " メモリースティック " を初期化するときは、本機またはご使用になっているデジタルカメラで初期化してください。パソコンでフォーマットした場合、画像が表示されないことがあります。
- フォーマットを実行するとプロテクトをかけてある画像ファイルもすべて削除されます。誤って大切なデータを削除することがないように、ご注意ください。
- 誤消去防止スイッチを「LOCK」にすると保存、削除ができなくなります。

次のページにつづく



- ラベル貼り付け部には、専用ラベル以外は貼らないでください。また、ラベルを貼るときは、所定のラベル貼り付け部にはみ出さないように貼ってください。

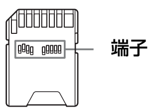
SD カード

本機では下記をご使用になれます。

- SD カード*1
- MiniSD カード、microSD カード（アダプターが必要です）*2
- SDHC メモリーカード*3
- MMC 規格メモリーカード*4

ただし、すべての SD カード、MMC 規格メモリーカードの動作を保証するものではありません。

*1 2GB までの SD カードで動作確認を行っています。
*2 市販のカードアダプタによっては、裏面中央部に端子が出ているものがあります。
本機では、このようなアダプタは正しく動作しない場合があります。



*3 8GB までの SDHC カードで動作確認を行っています。
*4 2GB までの MMC 規格メモリーカードで動作確認を行っています。

使用上のご注意

- 著作権保護技術が必要なデータの読み込み、記録はできません。

x D-Picture カード

本機は、xD-Picture Card*5 をご使用になれます。ただし、すべての xD-Picture カードの動作を保証するものではありません。

*5 2GB までの xD-Picture Card で動作確認を行っています。

コンパクトフラッシュカード

本機では下記をご使用になれます。

- CompactFlash Storage Card（Type I/Type II）または CF+Card（Type I/Type II）準拠のコンパクトフラッシュストレージカード*6*7
- マイクロドライブ
- COMPACT VAULT

また、市販のコンパクトフラッシュカードアダプター*8 をお使いになることにより、スマートメディアカードをご使用になれます。
ただし、すべてのコンパクトフラッシュカードの動作を保証するものではありません。

*6 コンパクトフラッシュカードは、電源仕様が 3.3V あるいは、3.3V/5V のものをお使いください。5V 専用、または 3V 専用のタイプは、お使いになれません。対応以外のカードを無理にお使いになると、本機の故障の原因となります。
*7 8GB までのコンパクトフラッシュカードで動作確認を行っています。
*8 市販のコンパクトフラッシュカードアダプターをお使いの場合は、取り付け方法、使用方法については、アダプターの取扱説明書をご覧ください。アダプターによっては、メモリー

カードのライトプロテクトをすると正しく動作しない場合があります。

カード使用上のご注意

- ご使用の際は、正しい挿入方向をご確認のうえご使用ください。間違ったご使用は機器の破損の原因となります。
- データの読み込み、書き込み中、アクセスランプが点滅中に、カードを抜かないでください。または電源を切らないでください。データが消えたり壊れたりすることがあります。
- 大切なデータは、バックアップを取っておくことをおすすめします。
- パソコンで加工した画像は、再生できないことがあります。
- 持ち運びや保管の際は、専用の収納ケースに入れてください。
- 端子部には手や金属で触れないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 以下のような場所でのご使用や保存は避けてください。
  - 使用条件範囲以外の場所（炎天下や夏場の窓を閉め切った車の中、直射日光のあたる場所、熱器具の近くなど）
  - 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所
  - 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所

主な仕様

■ 本体

プリント方式

昇華型熱転写方式YMC3色重ね

プリント解像度

300 dpi×300 dpi

画像処理

YMC各8ビット（256階調）

印刷範囲

1,800 ドット×1200　ドット

プリントサイズ

Lサイズ：
89×127 mm（最大、フチなし）
Pサイズ：
101.6×152.4 mm（最大、フチなし）

プリント時間（1枚）

［メモリーカード］*1*2*3*4
Lサイズ：約39秒
Pサイズ：約45秒
［PictBridge］*3*5
Lサイズ：約53秒
Pサイズ：約58秒
［PC］*6
Lサイズ：約39秒
Pサイズ：約45秒

入出力端子

HDMI出力端子（A TYPEコネクター、1080i(59.94Hz)/1080i(50Hz)/720p(59.94Hz)/720p(50Hz)/576p(50Hz)/480p(59.94Hz)対応、BRAVIA Link対応）
USB端子（USB 2.0 High Speed）
PictBridge/EXT INTERFACE端子
"メモリースティック"スロット
SD/xD-Pictureカードスロット
コンパクトフラッシュカードスロット

次のページにつづく

プリント可能なファイルフォーマット

JPEG： DCF 2.0準拠、Exif 2.21準拠、JFIF*7

TIFF： Exif 2.21準拠

BMP*8：1、4、8、16、24、32ビット Windows形式

画像の形式によっては、対応できないことがあります。

最大画素数

8,000×6,000ドット
(インデックスとクリエイティブプリントの一部除く)

ファイルシステム

FAT12/16/32、セクタサイズ 2048バイト以下

画像ファイル名

DCF形式、256文字、8階層以下

最大画像ファイル数

メモリーカード1枚／外部機器1台につき9,999枚

使用インクリボン／プリントペーパー

別冊「プリントパックについて」参照

液晶画面

液晶パネル：
9.0cm（3.6型）TFT駆動
総ドット数：
230,400
（320RGB×240）ドット

電源

DC IN端子入力、DC24V

消費電力

印刷時：83W（最大）
スタンバイ時：1W以下

動作温度

5℃〜35℃

外形寸法

約 180×67 x 137 (149) mm
(幅／高さ／奥行き)（LCD突起部／ハンドル部含む）
ペーパートレイ取り付け時の奥行き：
Pサイズ：約317 mm
Lサイズ：約290 mm

質量

約1.2ｋg
（ペーパートレイ約115g、インクリボン、ACアダプター含まず）

付属品

「付属品を確認する」（9 ページ）参照

■ AC アダプター AC-S2422

定格入力

AC100V - 240V、50/60Hz、1.5A-0.75A

定格出力

DC24V、2.2A（Peak3.7A、6.5ｓ）

動作温度

5℃〜35℃

外形寸法

約60×30.5×122 mm
（幅／高さ／奥行き）（突起部、ケーブル部を含まず）

質量

約305 g

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

プリント可能な枚数の目安は約 2,000 枚（P サイズ）です。総プリント枚数については、表示／本体設定メニュー の本体情報表示をご覧ください（41 ページ）。

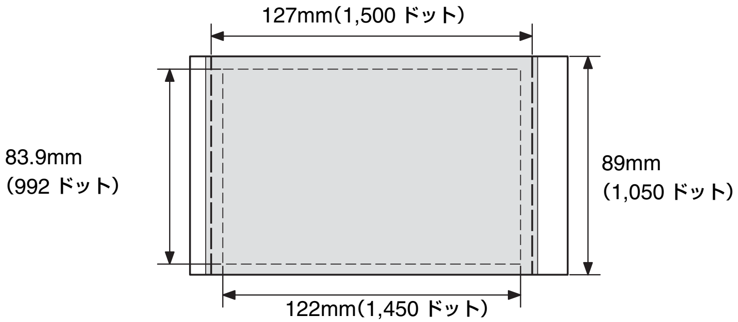
*1 プリント設定：フチなし、日付けなし、AutoFinePrint5（写真）（液晶表示時）

*2 当社、有効 1210 万画素相当のデジタルスチルカメラで撮影した画像（ファイルサイズ約4.37MB）を本機液晶画面よりプリントした時間

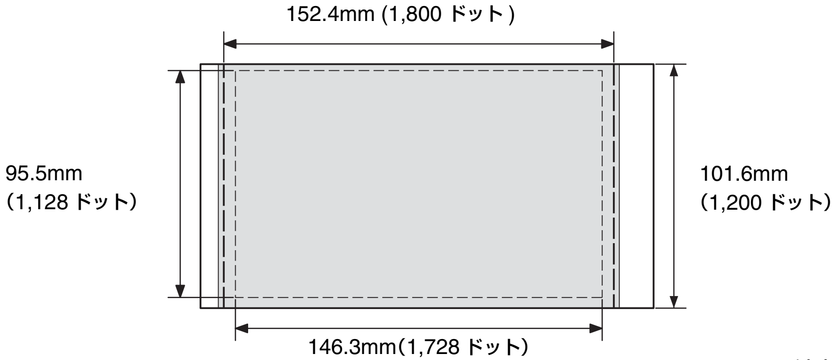
*3 印刷ボタンを押してからプリントが終了するまでの時間（使用される機器、画像データの大きさや形式、メモリーカードの種類、アプリケーション設定、使用条件によって変わる場合があります。）
*4 本機のスロットに挿入した " メモリースティック PRO デュオ " からのプリント
*5 DSC-W200 を USB 接続し、「プリントボタン」を押してからプリントが終了するまでの時間
*6 データ転送時間とデータ処理時間を除く
*7 4：4：4、4：2：2、4：2：0 形式のベースライン JPEG
*8 Picture Motion Browser からは印刷できません。

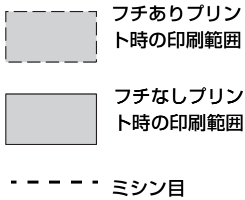
印刷範囲

L サイズ



P サイズ





上の図は縦横比が 2：3 の画像の場合の印刷範囲と余白を示しています。印画範囲は、フチなし、フチありプリントによって異なります。フチありプリントの場合、余白のサイズはプリントする画像の縦横比によって異なります。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際にお受け取りください。
- 所定事項に記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間はお買い上げ日より１年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう１度ご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときは

お買い上げ店、またはソニーの相談窓口へ相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、デジタルフォトプリンターの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低８年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障個所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、ソニーの相談窓口にご相談ください。ご相談になるときは、次のことをお知らせください。

- 型名：DPP-FP95
- 故障の状態：できるだけくわしく
- お買い上げ年月日
- パソコンをご使用の場合はパソコンの環境：
  - ご使用パソコンの機種名
  - メモリー容量
  - ハードディスクなどの容量
  - プリンタードライバーのバージョン

用語集

DCF(ディー シー エフ)

DCFは、社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）で、主としてデジタルカメラなどの画像ファイルを、関連機器間で簡便に利用しあえる環境を整えることを目的に標準化された規格「Design rule for Camera File System」の略称です。ただし、「DCF規格」は、機器間の完全な互換を保証するものではありません。

DPOF(ディーポフ)

デジタルカメラで撮影した画像をラボプリントショップや家庭用のプリンターで自動プリントするための情報を記録するフォーマットで、「Digital Print Order Format」の略称です。本機は、デジタルカメラで作成されたDPOFによるプリント予約および枚数予約に従って自動プリントを行うことができます。

Exif 2.21 (Exif Print)(イグジフ2.21(イグジフプリント))

デジタルフォトプリントの世界標準規格です。Exif Printに対応したデジタルカメラでは、撮影条件に関する情報が画像データ タと共に記録されます。本機はExif Printに対応しており、記録された画像の撮影条件を読み取ることで、自動的に撮影意図をより忠実に反映した高品位なプリントができます[*1]。

[*1] オートファインプリント機能を有効に設定している場合で、デジタルカメラでExif2.21規格にそって撮影された画像（JPEGファイル）は、自動的に最適な画像に調整されてプリントされます。

"メモリースティック"／コンパクトフラッシュカード／SDカード/xD-Picture カード

小型のメモリーカードです。詳しくは、77～79ページをご覧ください。

PictBridge(ピクトブリッジ)

カメラ映像機器工業会(CIPA)で制定された統一規格のことです。PictBridge規格対応デジタルカメラと本機を接続して、デジタルカメラの画像ファイルをプリントすることができます。

HDMI(エイチ ディー エム アイ)

HDMI(High-Definition Multimedia Interface)とは、デジタル機器間で映像／音声信号をデジタルのまま1本のケーブルで送ることができるインターフェースです。

高品質な映像や音声が楽しめます。

注意）本製品は音声出力には対応していません。

警告

火災 感電

下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

➡ 2 ページもあわせてお読みください。

分解や改造をしない

分解禁止

火災や感電の原因となります。内部点検や修理はお買い上げ店またはソニーの相談窓口にご依頼ください。

内部に水や異物（金属物や燃えやすい物など）を入れない

禁止

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続コードを抜いて、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

電源コードを傷つけない

禁止

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。

- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーの相談窓口に交換をご依頼ください。

機器本体や付属品は、幼児の手の届かない場所におく

禁止

内部に手を入れると、挟まれてけがをしたり、温度の高い部分にさわってやけどをすることがあります。また、本体小物部品、" メモリースティック " などのメモリーカードや、デュオサイズの M2 アダプターなどの変換アダプターを飲み込む恐れがあります。幼児の手の届かない場所に置き、お子様が触らぬようご注意ください。
万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

指定の AC アダプター以外は使用しない

禁止

火災や感電の原因となります。

⚠注意

下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差したり、使用しないでください。感電の原因になることがあります。

ぬれ手禁止

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や、直射日光のあたる場所では使わない

火災や感電の原因となります。とくに風呂場では絶対に使用しないでください。

禁止

不安定な場所に設置しない

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、落ちたりしてけがの原因となることがあります。また、設置、取り付け場所の強度を充分にお確かめください。

禁止

通風口をふさがない

通風口をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。風通しをよくするために次の項目をお守りください。

- 壁から 20cm 以上離して設置する。
- 密閉された狭い場所に押し込めない。
- 毛足の長い敷物（じゅうたんや布団など）の上に設置しない。
- 布などで包まない。
- 横倒しや逆さまで使用しない。

禁止

コード類は正しく配置する

電源コードや接続ケーブルは、足に引っかけると本機の落下などによりけがの原因となることがあります。充分注意して接続、配置してください。

指示

通電中の本機や AC アダプターに長時間触れない

長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

接触禁止

長時間使用しないときは電源プラグを抜く

長時間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。差し込んだままにしていると火災の原因となることがあります。

プラグをコンセントから抜く

本機やAC アダプターを布や布団などでおおった状態で使用しない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

禁止

本体内部の部品をさわらない

機構部品により、けがの原因となることがあります。
また、高温になった部品にさわると、火傷の原因となることがあります。

接触禁止

⚠注意

下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

動作中、通紙口に手を触れない、また、覗かない

急に紙が出てきて、けがの原因になることがあります。

禁止

本体の上に乗らない、重いものを載せない

落ちたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

禁止

電源コード、接続コード、ペーパートレイ、インクリボンドア、液晶部などを持って本体を持ち上げない

落ちたり壊れたりして、けがの原因になることがあります。

禁止

液晶画面に衝撃を与えない

液晶画面に強い衝撃を与えると割れて、怪我の原因となることがあります。

禁止

ハンドルを持ってふりまわさない。

ぶつけたり壊れたりして、怪我の原因となることがあります。

禁止

CD-ROM について

同梱されている CD-ROM を音楽用 CD プレーヤーにかけないでください。耳に障害を負う恐れや、スピーカー、イヤホン等を破損する恐れがあり、故障の原因になることがあります。

禁止

お手入れの際は、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

禁止

コネクターはきちんと接続する

- コネクターの内部に金属片を入れないでください。ピンとピンがショート（短絡）して、火災や故障の原因となることがあります。
- コネクターはまっすぐに差し込んで接続してください。斜めに差し込むと、ピンとピンがショートして、火災や故障の原因となることがあります。

禁止

電源コードや接続ケーブルを AC アダプターに巻き付けない

断線や故障の原因となることがあります。

禁止

索引

アルファベット順

五十音順

次のページにつづく

■ 困ったときは（サポートのご案内）

ホームページで調べる

SUPPORT

デジタルフォトプリンターの商品や最新サポート情報（製品に関するQ&A、プリンタードライバーのOS対応情報など）はこちらのホームページから

http://www.sony.co.jp/DPP/

メモリースティック対応表

使用可能な"メモリースティック"を確認できます。

http://www.sony.co.jp/ mstaiou/

電話で問い合わせる（おかけ間違いにご注意ください。）

TEL

よくあるお問い合わせ、解決方法などはホームページをご活用ください。　**http://www.sony.co.jp/support**

使い方相談窓口

フリーダイヤル・・・・・・・・・・・・・・・・0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話・・・ 0466-31-2511

修理相談窓口

フリーダイヤル・・・・・・・・・・・・・・・・0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話・・・ 0466-31-2531

※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「403」 ＋「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

FAX（共通） 0120-333-389　**受付時間** 月～金：9:00～20:00　土・日・祝日：9:00～17:00

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

■ カスタマー登録のご案内

カスタマー登録

カスタマー登録していただくと、安心・便利な各種サポートが受けられます。詳しくは、同封のチラシ「カスタマー登録のご案内」もしくはご登録WEBサイトをご覧ください。

http://www.sony.co.jp/dpp-regi/

ソニー株式会社　〒 108-0075 東京都港区港南 1-7-1

http://www.sony.co.jp/　Printed in China

eco info　この説明書は VOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。